

令和 8 年度

経営体育成基盤整備事業

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

夷隅農業事務所

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事 設計書

工事内容

揚水機場工
整地工
道路工

N= 1 箇所
A= 0.07 ha
L= 108.0 m

工 事 価 格 金 円也

消費税相当額 金 円也

請負工事費 金 円也

令和 8 年 度

経営体育成基盤整備事業
大楠地区

特 別 仕 様 書

事業名	経営体育成基盤整備事業
地区名	大楠地区
工事名	大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

特 別 仕 様 書

第1章 総 則

本工事の施工に当たっては千葉県農林水産部耕地課制定「土木工事共通仕様書」に基づいて実施する。同仕様書に対する特記及び追加事項はこの特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

- 1 目 的 この工事は、経営体育成基盤整備事業大楠地区の事業計画に基づき向小羽戸揚水機場の新設及び区画整理を実施するものである。
- 2 工事場所 勝浦市大楠地先
- 3 工事概要 この工事は、揚水機場工事及び区画整理工事で、その概要は次のとおりである。

揚水機場工	N=1 箇所
区画整理工	A=0.07ha
道路工	L=108.0m
- 4 工事数量 別紙工事数量総括表のとおりである。

第3章 施工条件

- 1 工程関係
該当なし
- 2 部分引渡し
該当なし
- 3 工事期間
工事期間には、雨天・休日等を見込んでいる。
- 4 工程関係
該当なし

第4章 現場条件

- 1 土 質 この工事の土質は、粘性土及び軟岩を想定している。
- 2 関連工事
大楠(向小羽戸工区)区画整理工事その1
大楠(向小羽戸工区)揚水機購入据付工事
- 3 第3者に対する措置
(1)騒音、振動対策
騒音・振動等の発生を伴う作業については、その対策に十分配慮するとともに、関係法規を厳守し、地域住民との協調を図り工事の円滑な進捗に努めなければならない。

(2) 排出ガス対策

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「土地改良工事等請負工事標準機械経費算定基準」(昭和 58 年 2 月 28 日付け 58 構改 D 第 147 号)で示す排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装着の開発」、または、これと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

対象機種一覧

一般工事に用いる建設機械	備考
・バックホウ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・ロードローラー、タイヤローラー、振動ローラー ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン (エンジン出力 7.5kw～260kw) を搭載した建設機械に限る。

備考

道路輸送車両の保安基準に排出ガス基準を定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものを除く。

(3) 濁水処理対策

汚濁水等を直接河川に流さないよう施工方法に注意するとともに、必要に応じて流末処理(河川汚濁防止施設等)施設を設ける等、十分注意するものとする。

(4) 安全対策

- 1) 重機や資材の搬入時は、一般交通の支障とならないよう十分に配慮し、交通安全に万全を期さなければならない。
- 2) 本工事における交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、条件変更などに伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとする。

配置場所	交通誘導警備員	編成	昼夜別	交代要員の有無
現場入口	1 名/日	交通誘導警備員 B	昼間	無

(5) 重量制限

該当なし

(6) 公害対策

公道等の路面を汚損した場合は、速やかに清掃すること。

工事施工にあたっては、騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督職員の承諾を得なければならない。

4 環境対策等

- (1) 本工事で使用する軽油については、JIS 規格軽油を使用すること。
- (2) 受注者は、県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係

る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対しては、監督員の指示により協力しなければならない。

- (3) 受注者は、千葉県が運用を開始している千葉県庁エコオフィスプランの構成要素をなす「公共事業における環境配慮」を推進し、達成するため施工計画書“環境対策”内に、独立した項目として「環境に配慮した工事実施計画」について記載するものとする。工事施工にあたっては、騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督職員の承諾を得なければならない。

5 関係機関との調整

(1) 工事支障物件等

現場内に設置している電柱は、揚水機購入据付工事の受注者が機場への電力の引込作業を行うことから、相互に協力し連携を図ること。

(2) 工事用道路関係

資材等の運搬路として使用する道路は関連工事である大楠(向小羽戸工区)揚水機購入据付工事においても使用するため、施工時期を相互に調整すること。

(3) 資材置場

資材置場は関連工事である大楠(向小羽戸工区)揚水機購入据付工事においても使用するため、受注者間で相互に協力を図ること。

(4) 建設発生土

本工事は別添図面に示すストックヤードに置かれている建設発生土を利用することとする。

6 建設副産物

(1) 共通事項

1) 建設副産物

「千葉県建設リサイクル推進計画2020」及び「千葉県建設リサイクル推進計画2020ガイドライン等」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。

また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を作成し、「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」と合わせて提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。

なお、上記計画書及び各実施書の作成にあたっては、「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」を用いて登録・作成しなければならない。

◎作成対象工事

受注金額100万円以上のすべての工事について建設資材利用、建設副産物の発生・排出の量の大小及び有無にかかわらず作成する。

- 2) 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確

認を受け、同申請書を1部提出すること。

建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。

建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提出し確認を受けること。

建設廃棄物の処理にあたっては、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、複写式伝票のD票及びE票の写しを提出すること。

また、電子マニフェスト方式による場合は、廃棄物処理法に基づき指定された団体が発行する、当該工事の電子マニフェスト情報を収録した磁気媒体の提出または、建設副産物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録した情報をパソコンにより印刷したもの（受渡確認伝票）を提出すること。

3) 建設リサイクル法

a) 特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置

ア. 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年度法律104号)。以下「建設リサイクル法」という。」に基づく対象建設工事であり、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

なお、建設工事請負契約書「6. 解体工事に要する費用等」については、契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が条件明示した事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

イ. 受注者は、特定建設資材の分解解体等・再資源化が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等した施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、書面に添付する資料は「建設リサイクル推進計画2020ガイドライン」に定めた様式1「再生資源利用実施書」及び様式2「再生資源利用実施書」（いずれも必要事項を記載したもの）とし、実施書の作成に用いたシステム(COBRIS)によることができる。

b) 請け負おうとする建設業者からの事前説明に関する事項

ア. 建設リサイクル法第12条で、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対して、対象建設工事の届出に関する事項を記載した書面(説明書)を提出し説明を行うこととする。

イ. 書面の提出は、契約に先立って行うこととする。

ウ. 書面は施工計画書に添付するものとする。

(2) 建設廃棄物

1) 廃プラスチック(564.9kg)は、勝浦市杉戸地先、片道運搬距離 3.8km の(株) イタミエコテックに運搬し処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第 5 章 仮設備

1 指定仮設

該当なし

2 任意仮設

(1) 本工事の仮設工にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、細部構造等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し、安全性、経済性、細部構造については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。

第 6 章 工事用地等

該当なし

第 7 章 貸与設備

該当なし

第 8 章 支給材料

該当なし

第 9 章 工事用電力

この工事に使用する電力設備及び電気料金は、受注者の負担とする。

第 10 章 工事材料

1 規格及び品質

この工事で使用する主要材料の規格品質は、資材集計表に記載のとおりであり、監督職員が指示する材料については、試験成績書等を提出しなければならない。

設計図書にある千葉県型コンクリート二次製品は普通エコセメント使用を原則とする。

コンクリートは生コンクリートを使用するものとし、使用目的別の配合諸元は次のとおりとする。

呼び強度 (N/mm ²)	SL (cm)	MS (mm)	W / C (%)	セメント の種類	使用目的
21	8	25	55 以下	B・B	吸水槽
18	8	25	65 以下	B・B	均しコンクリート・護岸 ブロック積・弁室、制御盤基礎

2 見本又は資料提出

下記に示す工事材料は、使用前に見本、カタログ、試験成績書等を監督職員に提出し承認を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

また、コンクリート二次製品については、1. 規格及び品質(○)コンクリートで示す 1) から 3) のアルカリ骨材反応抑制対策のうち、いずれの対策を講じるかをあわせて報告するものとする。

ただし、対策を講じる前に製造された製品は、受注者が立会い使用した骨材を採取し、試験を行い、結果を報告するものとする。

材 料 名	提 出 物
足掛金物	カタログ等
ネットフェンス	カタログ等
護岸ブロック	カタログ等
ブロック積ブロック	カタログ等
縞鋼板	製作図
グレーチング	製作図
硬質塩化ビニル管、異形管	カタログ等、試験成績表等
砕石類	試験成績書、カタログ等
生コンクリート	試験成績書、配合計画書
鉄筋	試験成績書、カタログ等

3 監督職員の検査又は試験

下記に示す工事材料は、使用前に監督職員の検査又は試験を受けなければならない。

材 料 名	検 査、 試 験 項 目	備 考
Co 二次製品	寸法	

第 11 章 施 工

1 一般事項

設計図書を熟読し、施工内容を十分把握すること。特に完成時確認が困難な工種については直接測定、撮影記録等による施工管理を十分に行うこと。また、受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時まで所定の様式により提出することができる。

不明な点については監督職員と打ち合わせを行うこと。

(1) 水準点

本工事の水準点は、監督職員と協議する。

(2) 検測又は確認

この工事の検測、確認を下記の段階で受けなければならない。

工 種	作 業 段 階	備 考
吸水槽	鉄筋組立完了時	
吸水槽	型枠設置完了時	
吸水槽	埋戻着手前	
整地工	区割測量完了時	地割測量
〃	地盤整地完了時	面積測量

- | | | |
|-----|----|-----------|
| 道路工 | 丁張 | 道路幅・高さ・線形 |
|-----|----|-----------|
- 2 中間技術検査
 該当なし
 - 3 土 工
 - (1)掘削
 - ア 掘削地盤は、過掘りに注意する。
 - イ 掘削にあたっては、法面の崩壊に十分注意して施工しなければならない。
法面の崩壊により他の施設に重大な影響が発生又はその恐れが認められるときは、速やかに監督職員と協議をしなければならない。
 - (2)埋戻
 - 埋戻は、1 層仕上厚さが 30cm 程度となるようまき出しを行い、コンパクタやローラー等で締固を行うこと。
 - 4 工事用資機材の保管及び仮置き
 資機材の現場内保管については、盗難・事故防止に努めること。
 - 5 工事現場発生品
 該当なし
 - 6 工法の指定
 該当なし

第 12 章 施工管理

- 1 工事の施工管理は「工事施工管理基準(農業農村整備事業)」により実施する。
- 2 工事写真における黒板情報の電子化について
 工事写真における黒板情報の電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、電子情報として被写体画像と同時に黒板の記載情報を記録してデータ化することにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。
 受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで、工事写真における黒板情報の電子化を実施するものとし、以下の（１）から（４）のすべてを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、工事施工管理基準（農業農村整備事業） 第 1 土木工事施工管理基準 第 3 項 撮影記録による出来形管理※ に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」

(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」) に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が選定及び調達するものとする。使用機器等の事例として、

URL (<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>) 記載の「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照された

- い。ただし、この事例中の機器に使用を限定するものではない。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等について、工事着手前に提示するものとする。
 - 3) 機器等の導入に係る費用は、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。機器等の導入に係る費用とは、工事写真における黒板情報の電子化の実施に必要な機器等の機械経費及び電算使用料等を指す。
- (3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い
- 1) 受注者は、(1)の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。
 - 2) 本工事の工事写真の取扱いは、「工事施工管理基準（農業農村整備事業）第1 土木工事施工管理基準 第3項 撮影記録による出来形管理」※ 及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。
 - 3) 1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
 - 4) 黒板情報の電子化を実施した場合は、従来の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。
- (4) 写真の納品
- 1) 受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。
 - 2) 受注者は納品時に URL (<https://www.jcomsia.org/kokuban>) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェア及び工事写真ビューアソフトを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ、工事打合せ簿により提出するものとする。
 - 3) 提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

第13章 電子納品

- (1) 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは「工事完成図書の電子納品要領（案）：以下「要領」という」に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。
- (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で正副2部を提出する。「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。
なお、電子納品の運用に当たっては、「電子納品運用ガイドライン（案）（令和2年4月1日）」を参考にするものとする。
- (3) 工事完成図書の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出をすること。
- (4) 本工事の電子成果品は（公財）千葉県建設技術センター（以下、「センター」という。）による一元保管管理の対象とする。本契約締結後、センターへの登録申請をすみやかに行うとともに申請後に発行される「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」は監督職員へ提出すること。また契約変更等に伴う修正申請

も遅滞なく行う必要があるが、その都度の「事前受付書」提出は求めない。完成検査において合格と認められた電子媒体副本については、原則として検査後1週間以内に、最終版の「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」（監督職員記名済み写し）を添えてセンターへ送付すること。

- (5) 本工事の電子成果品は土木工事請負契約書第45条の対象とし、電子データに不備が確認された場合は、受注者は修正作業を行わなければならない。

第14章 構造物品質確認調査

本工事で施工する取水工、調整池及び吸水槽については、土木構造物の品質を確保するため、テストハンマーによる強度推定調査及び、ひび割れ発生状況調査を行うものとする。

- 1 強度推定調査方法は次によるものとする。
 - (1) 調査頻度は、強度が同じブロックを1構造物の単位として、各単位につき3箇所の調査を実施するものとする。
 - (2) 調査の結果、所定の強度が得られない場合については、その箇所の周辺において再調査を5箇所実施するものとする。
 - (3) 測定方法は「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法(JSCE-G504)」により実施するものとする。
 - (4) 測定結果によっては、コアを採取し、圧縮強度試験を行うこともある。
 - (5) 実施時期・位置など詳細については、監督職員と十分に打合わせを行うものとする。なお、調査票については別途指示するものとする。
- 2 ひび割れ発生状況調査は次により実施するものとする。
 - (1) 構造物完成後、0.2mm以上のひび割れ幅について、別途指示する調査票により展開図を作成するものとし、展開図に対応する写真についても添付するものとする。
 - (2) 調査票の記入方法等の詳細については監督職員の指示によるものとする。なお、完成検査時に提出するものとする。

第15章 条件変更の補足説明

この工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は以下のとおり。

- 1 掘削土の土質
- 2 転石の出現
- 3 表土の補充量
- 4 排水量・地下水位
- 5 地下埋設物(埋蔵文化財を含む)の出現（位置の変更含む）
- 6 その他監督職員が必要と認めたもの

第16章 設計変更

設計変更等については、契約書第19条から第25条及び土木工事共通仕様書

第1編共通編1-1-18から1-1-20に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事請負契約における設計変更等ガイドライン（総合版）令和3年1月」によることとする。

2 運搬費及び準備費の設計変更について

- (1)本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。

運搬費：建設機械の運搬費

準備費：伐開・除根・除草費

- (2)発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
- (3)受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
- (4)受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書（以下「内訳書」という。）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

- (5)受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6)発注者は、内訳書を精査したうえで、「実績額」と「率計上額」の差額を、共通仮設費積上分に計上する。
- (7)発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8)疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

3 地域外からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更について

- (1)本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）については、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じることが考えられる。契約締結後、受注者の責によらない地元調整等により施工計画に変更が生じ、積算基準の金額想定では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

- (2)発注者は、契約締結後、受注者から請負代金内訳書の提出があった場合、共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
- (3)受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、発注者は別

に示す実績変更対象経費に係る費用の内訳を記載した実績変更対象経費に関する実施計画書（以下「計画書」という。）を作成し、監督職員に提出するものとする。

- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する変更実施計画書（以下「変更計画書」という。）を作成するとともに、変更計画書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事積算基準に基づき算出した額」から「計画書に記載された共通仮設費（率分）と現場管理費の合計額」を差し引いた後、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

第 17 章 公共事業関係調査に対する協力

本工事の実施に伴い、次の工種の歩掛調査を実施するものとする。
なお、調査要領等については、監督職員の指示によるものとする。
歩掛調査を実施する場合明示する。

第 18 章 「三者会議」の実施

三者会議は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行うものである。

本工事では、施工者から「三者会議」の開催の申し出があった場合、協議のうえ、明らかに三者会議の必要性が乏しいと判断される場合を除き、「三者会議」を開催するものとする。

施工者は、「三者会議」の開催を要請する場合、監督職員と協議するものとする。

第 19 章 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第 20 章 快適トイレ

- 1 本工事は、快適トイレ対象工事である。
- 2 受注者は、当該工事の現場に快適トイレを設置する場合は、事前に工事打合せ簿により設置基数、設置期間、仕様について、監督職員と協議すること。
- 3 快適トイレは、以下の (1) ～ (11) の仕様を満たすこと。なお、(12) ～

(17) については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。

【トイレに求める機能】 ※必須

- (1) 洋式便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を 5 kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】 ※必須

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えなような配置等）
- (9) サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】 ※任意

- (12) 室内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）
- (13) 擬音装置（機能を含む）
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化
- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

- 4 快適トイレの設置に要する費用は、通常の仮設トイレとの差額として、1 基あたり 51,000 円/月を上限に、発注者が負担する。ただし、工事期間中に、通常の仮設トイレから快適トイレに変更した場合、又は快適トイレから通常の仮設トイレに変更した場合は、費用負担の対象としない。
- 5 発注者が費用負担する快適トイレは、1 現場 1 基までとする。ただし、男女別に設置する場合には、1 現場 2 基までとする。
- 6 発注者が負担する快適トイレの設置に要する費用は、設計変更で対応する。
- 7 受注者は、快適トイレに係る支出実態のわかる資料を、監督職員に提出すること。
- 8 受注者は、発注者が快適トイレに関するアンケートを実施する場合は、監督職員が指定した期日までにアンケートを提出すること。

第 21 章 週休 2 日制適用工事【現場閉所による週休 2 日工事】

- 1 本工事は、週休 2 日制適用工事である。
- 2 受注者は、現場閉所による週休 2 日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休 2 日達成相当の経費を補正している。
- 3 受注者が週休 2 日交替制工事を希望するときは、受発注者間で協議し週休 2 日交替制工事に変更することができる。
- 4 受注者が、工事着手前に週単位の週休 2 日の取組を希望し、なおかつ対象期間内

での週単位の週休2日相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものとする。

- 5 週休2日制の実施にあたっては、「千葉県農業農村整備事業における週休2日制適用工事試行要領（令和7年10月版）」に基づき行うこと。

第22章 千葉県建設キャリアアップシステム活用工事

- 1 本工事は、千葉県建設キャリアアップシステム活用工事の対象工事とする。
- 2 受注者は、工事の締結後、工事着手前にCCUS活用の希望の有無について、監督職員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては、「千葉県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」に基づき行うこと。

第23章 情報共有システムの活用について

- 1 本工事は、情報共有システムの対象工事である。ただし、活用による生産性向上が見込まれないなどと判断される場合は、受発注者間の協議により、実施の有無を決定することとする。
- 2 実施に当たっては「千葉県農業農村整備事業情報共有システム実施要領」に基づくものとする。

第24章 遠隔臨場

- 1 本工事について遠隔臨場の試行を希望する場合は、発注者と協議し、試行可能と回答が得られた場合は「遠隔臨場試行工事(発注者指定型)」とすることができる。
- 2 建設現場の遠隔臨場に関する試行工事「建設現場の遠隔臨場に関する試行工事(以下、「本試行工事」という。)」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者(監督員)における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)とWeb会議システム等を使用して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、本試行工事は「千葉県農業農村整備事業における建設現場の遠隔臨場に関する試行要領」の内容に従い実施する。

3 試行内容

(1) 段階確認・材料確認、立会での確認

- ①受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により撮影した映像と音声スマートフォン向けのTV電話やWeb会議システムを利用しながら確認するものである。試行内容については、受注者との協議により実施するものとする。
- ②確認実施者が現場技術員の場合は、現場技術員は使用するPCにて遠隔臨場の映像(実施状況)を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム(ASP)等に登録して保存する。(従来の立会資料の管理同様とする。)
- ③ウェアラブルカメラとは、ヘルメットや体に装着や着用可能(ウェアラブル;Wearable)なデジタルカメラの総称であり使用製品を限定するものではない。一般的なAndroidやiPhone等のモバイル端末を使用することも可能である。なお、ウェアラブルカメラ等の使用は、「段階確認」、「材料確認」と「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも

活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

(2) 機器の準備

本試行工事に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとし、発注者側にて準備している動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や既に使用している Web 会議システム等を含め詳細については、監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 効果の検証

本試行工事を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

第 25 章 ICT 活用工事について

- 1 本工事は、ICT 施工技術の活用による建設現場の生産性向上を図るため、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、出来形管理資料の作成等の各段階において、3 次元データを用いた情報化施工技術を活用する ICT 活用工事の試行工事である。

【対象工種】小規模土工

- 2 試行工事を実施する場合は、契約後、施工計画書の提出までに「ICT 活用工事計画書」により発注者と協議を行い、協議が整った場合に ICT 施工技術を活用した工事を試行できるものとする。
- 3 ICT 活用工事を実施する場合は、実施した施工技術の内容に応じて、「情報化施工技術の活用ガイドライン」（農林水産省農村振興局整備部設計課）や「千葉県農業農村整備事業における ICT 活用工事試行要領」（以下、試行要領）に基づいて、設計変更を行い、必要な経費を計上する。
- 4 試行工事の実施の詳細は、試行要領によるものとする。

第 26 章 難工事の指定

本工事は、難工事として指定した工事である。

第 27 章 その他

この仕様書に定めのない事項又はこの工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

令和 8 年 度

経営体育成基盤整備事業
大楠地区

数 量 総 括 表

事業名	経営体育成基盤整備事業
地区名	大楠地区
工事名	大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

数量総括表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 揚水機場工				
(1) 土工				
床掘(土砂)		m3	397.000	
床掘(岩)		m3	275.000	
土砂機械投入		m3	693.000	
人力埋戻		m3	93.000	
機械埋戻	R2(振動ローラ ハンドガイド式)	m3	147.000	
機械埋戻	R3(振動ローラ ハンドガイド式)	m3	171.000	
機械埋戻	R4(振動ローラ ハンドガイド式)	m3	213.000	
整地		m3	53.000	
法面整形		m ²	97.000	
(2) 吸水槽工				
基面整正		m ²	21.000	
基礎コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m3	2.100	
型枠工		m ²	1.800	
コンクリート打設工	21-8-25 W/C55%以下	m3	47.000	
型枠工		m ²	126.000	
鉄筋工	SD345 (D13)	ton	1.190	
鉄筋工	SD345 (D19)	ton	0.458	
鉄筋工	SD345 (D29)	ton	2.550	
足掛金物設置工	φ 19 (300B)	個	15.000	
縞鋼板設置工		枚	1.000	
グレーチング設置工		枚	1.000	
(3) 護岸工				

数量総括表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
コンクリート積ブロック工		m ²	54.000	
裏込砕石		m ³	13.000	
天端コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m ³	0.800	
埋戻用コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m ³	1.700	
小口止め(1)	18-8-25 W/C65%以下	箇所	2.000	
小口止め(2)	18-8-25 W/C65%以下	箇所	1.000	
(4)弁室工				
基礎砕石		m ²	3.200	
無筋コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m ³	1.800	
型枠工		m ²	14.000	
足掛金物設置工	φ 19(300B)	個	3.000	
縞鋼板設置工		枚	4.000	
(5)ブロック積工				
基面整正		m ²	25.000	
基礎砕石		m ²	15.000	
基礎コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m ³	1.400	
型枠工		m ²	8.600	
コンクリート積ブロック工	A種 控え35cm	m ²	68.000	
コンクリート積ブロック工	水抜きフィルター	m ²	37.000	
裏込砕石		m ³	34.000	
天端コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m ³	1.000	
小口止コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m ³	3.000	
(6)制御盤基礎工				
基礎砕石		m ²	2.900	

数量総括表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m ³	1.600	
型枠工		m ²	4.200	
(7)安全施設工				
ネットフェンス工	H=1.5m	m	7.000	
片開門扉設置工	1.5B×1.0H	組	1.000	
(8)場内整備工				
敷砂利工		m ²	59.000	
小運搬工		m ³	5.900	
2. 整地工				
(1)整地工	畑			
畑整地工	基盤切盛	m ³	810.000	
畑整地工	搬入土整地	m ³	810.000	
畑整地工	整地	ha	0.070	
(2)整地工(運土)				
運土工(一次運土)	ダンプトラック運搬	m ³	900.000	
運土工(二次運土)	不整地運搬 L=80m以下	m ³	900.000	
(3)整地付帯工				
法面整形工	2型(田差0.30～0.59)	m	36.900	
法面整形工	5型(田差1.50～1.99)	m	3.600	
法面整形工	7型(田差2.50～2.99)	m	4.100	
法面整形工	9型(田差3.50～3.99)	m	20.100	
3. 道路工				
(1)路体盛土工				
路体盛土工		m ³	917.000	

数量総括表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
(2)道路法面整形工				
道路法面整形工	A-3型(田差0.00～0.29)	m	6.800	
道路法面整形工	B-1型(田差0.30～0.59)	m	4.000	
道路法面整形工	B-3型(田差0.30～0.59)	m	27.200	
道路法面整形工	C-1型(田差0.60～0.99)	m	6.200	
道路法面整形工	D-1型(田差1.00～1.49)	m	16.000	
道路法面整形工	D-3型(田差1.00～1.49)	m	38.000	
道路法面整形工	E-1型(田差1.50～1.99)	m	3.800	
道路法面整形工	F-3型(田差2.00～2.49)	m	6.000	
(3)道路用土運土工				
運土工(二次運土)	ブルドーザ掘削押土	m3	639.000	
運土工(二次運土)	不整地運搬 L=80m以下	m3	380.000	
4. 処分工				
(1)処分工				
産業廃棄物運搬工	廃プラスチック	台	1.000	
産業廃棄物処分工	廃プラスチック(大型土のう)	kg	442.500	
産業廃棄物処分工	廃プラスチック(土木シート)	kg	122.400	
5. 仮設工				
(1)作業ヤード進入路工				
路体盛土		m3	141.000	
運土工	ブルドーザ掘削押土	m3	157.000	
(2)足場工				
護岸工	手摺先行型	掛m ²	54.700	
吸水槽工	手摺先行型	掛m ²	84.000	

数量総括表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
ブロック積工	手摺先行型	掛㎡	70.700	
(3)敷鉄板工				
仮設進入路		㎡	534.000	
資材置場		㎡	204.000	
作業ヤード		㎡	234.000	
(4)大型土のう工				
大型土のう設置撤去		袋	177.000	
(5)土木シート設置・撤去				
土木シート敷設・撤去		㎡	204.000	
(6)水替工				
水替工設置・撤去		箇所	1.000	
(7)安全費				
交通誘導警備員B		人	25.000	
(8)仮設進入路工				
ガードパイプ撤去復旧		m	8.000	
ガードレール撤去復旧		m	8.000	
塩ビ管布設		m	4.000	
歩車道境界ブロック撤去設置		m	6.000	
6. その他				
(1)運搬費				
運搬費				
仮設材輸送				
仮設材輸送		ton	167.820	
(2)技術管理費				

数量総括表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
技術管理費				
技術管理費				
出来高測量		ha	0.070	

令和 8 年 度

経営体育成基盤整備事業
大楠地区

数 量 調 書

事業名	経営体育成基盤整備事業
地区名	大楠地区
工事名	大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

数 量 集 計 表

大楠 向小戸戸揚水機場及び区画整理工事

種 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
1 揚水機場工事		式	1	
(1) 土工		式	1	
床掘(土砂)	BH(0.8m3)掘削	m3	397	(参考数量)
床掘(岩)	BH(0.8m3)掘削	m3	275	(参考数量)
土砂機械投入		m3	693	(参考数量)
人力埋戻	R1(振動コンパクタ)	m3	93	(参考数量)
機械埋戻	R2(振動ローラ ハンドガイド式)	m3	147	(参考数量)
機械埋戻	R3(振動ローラ ハンドガイド式)	m3	171	(参考数量)
機械埋戻	R4(振動ローラ ハンドガイド式)	m3	213	(参考数量)
整地		m3	53	(参考数量)
法面整形		m2	97	
(2) 吸水槽工		式	1	
基面整正		m2	21	
基礎コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m3	2.1	
型枠工	基礎コンクリート	m2	1.8	
コンクリート打設工	21-8-25 W/C55%以下	m3	47	
型枠工	鉄筋コンクリート	m2	126	
鉄筋工	SD345 (D13)	ton	1.19	
鉄筋工	SD345 (D19)	ton	0.458	
鉄筋工	SD345 (D29)	ton	2.55	
足掛金物設置工	φ19(300B)	個	15	
綯鋼板設置工	t=4.5mm、□700×700	枚	1	
グレーチング設置工	□1640×850(切欠□440×370)受枠ボルトナット付	枚	1	
(3) 護岸工		式	1	
コンクリート積ブロック工	A種 控え35cm	m2	54	
裏込碎石	RC-40	m3	13	
天端コンクリート	18-8-25 W/C65%以下	m3	0.8	
埋戻コンクリート	18-8-25 W/C65%以下	m3	1.7	
小口止め(1)	18-8-25 W/C65%以下	箇所	2	
小口止め(2)	18-8-25 W/C65%以下	箇所	1	
(4) 弁室工		式	1	
基礎碎石	RC-40、t=100	m2	3.2	
無筋コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m3	1.8	
型枠工	無筋コンクリート	m2	14	
足掛金物設置工	φ19(300B)	個	3	
綯鋼板設置工	t=4.5mm、□635×700	枚	4	
(5) ブロック積工		式	1	
基面整正		m2	25	
基礎碎石	RC-40、t=100	m2	15	
基礎コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m3	1.4	

数 量 集 計 表

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

種 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
型枠工	無筋コンクリート	m2	8.6	
コンクリート積ブロック工	A種 控え35cm	m2	68	
コンクリート積ブロック工	水抜きフィルター	m2	37	
裏込碎石	RC-40	m3	34	
天端コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m3	1	
小口止めコンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m3	3	
(6)制御盤基礎工		式	1	
基礎碎石	RC-40、t=150	m2	2.9	
コンクリート打設工	18-8-25 W/C65%以下	m3	1.6	
型枠工	無筋コンクリート	m2	4.2	
(7)安全施設工				
ネットフェンス工	H=1.5m	m	7	
片開門扉設置工	1.5B×1.0H	組	1	
(8)場内整備工				
敷砂利工	RC-40 t=100	m2	59	
小運搬工		m3	5.9	
2 整地工		式	1	
(1)整地工	畑	式	1	
畑整地工	基盤切盛	m3	810	
畑整地工	搬入土整地	m3	810	
畑整地工	整地	ha	0.07	
(3)整地工(運土)		式	1	(参考数量)
運土工(一次運土)	ダンプトラック運搬	m3	900	(参考数量)
運土工(二次運土)	不整地運搬 L=80m以下	m3	900	(参考数量)
(3)整地付帯工		式	1	
法面整形工	2型(田差0.30~0.59)	m	36.9	
法面整形工	5型(田差1.50~1.99)	m	3.6	
法面整形工	7型(田差2.50~2.99)	m	4.1	
法面整形工	9型(田差3.50~3.99)	m	20.1	
3 道路工		式	1	
(1)路体盛土工		式	1	
路体盛土工	路体盛土	m3	917	
(2)道路法面整形工		式	1	
道路法面整形工	A-3型(田差0.00~0.29)	m	6.8	
道路法面整形工	B-1型(田差0.30~0.59)	m	4.0	
道路法面整形工	B-3型(田差0.30~0.59)	m	27.2	
道路法面整形工	C-1型(田差0.60~0.99)	m	6.2	
道路法面整形工	D-1型(田差1.00~1.49)	m	16.0	

数 量 集 計 表

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

種 別	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	摘 要
道路法面整形工	D-3型 (田差1.00～1.49)	m	38.0	
道路法面整形工	E-1型 (田差1.50～1.99)	m	3.8	
道路法面整形工	F-3型 (田差2.00～2.49)	m	6.0	
(3) 道路用土運土工		式	1	(参考数量)
運土工 (二次運土)	ブルドーザ掘削押土	m3	639	(参考数量)
運土工 (二次運土)	掘削・積込み・不整地運搬 L=180m以下	m3	380	(参考数量)

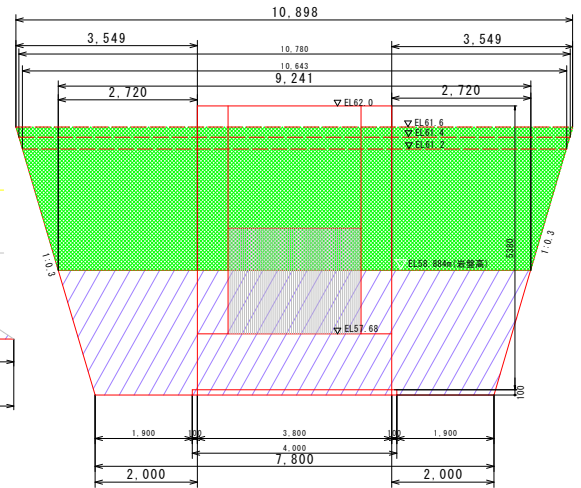
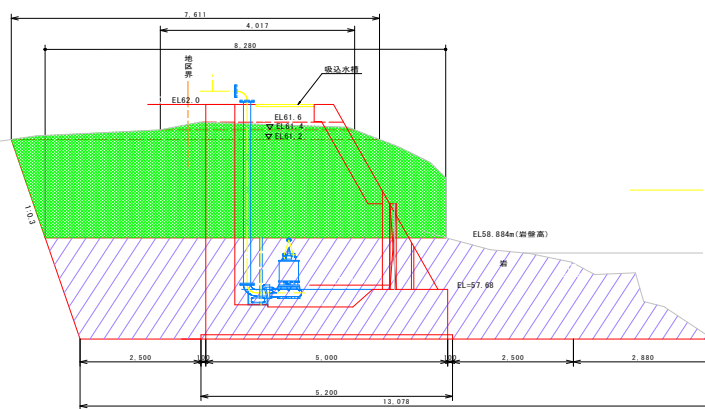
数 量 集 計 表

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

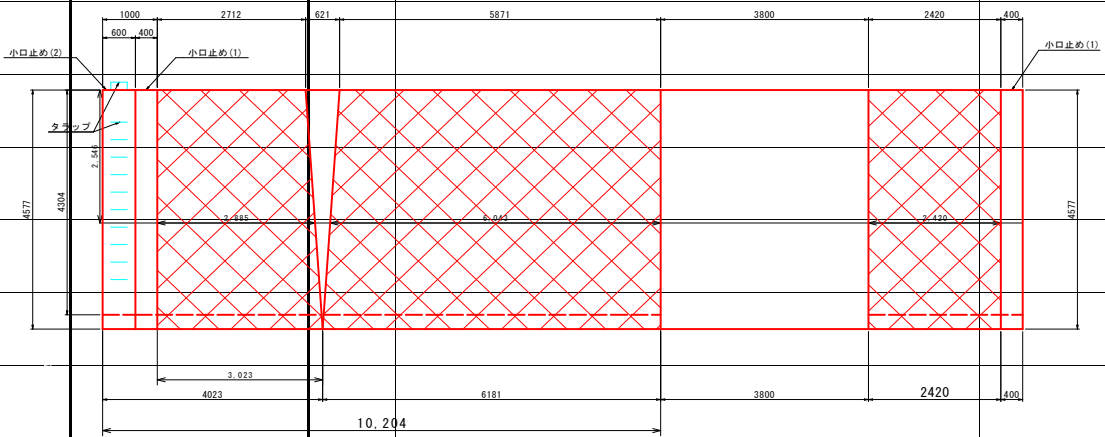
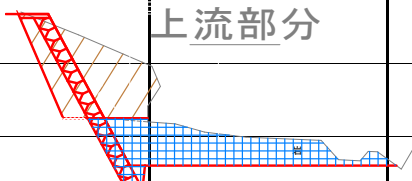
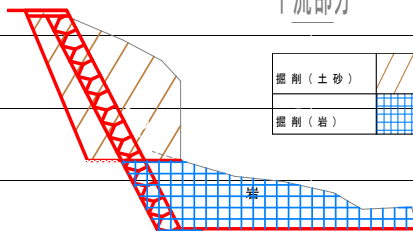
種 別	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
4 処分工		式	1	
(1) 処分工		式	1	
産業廃棄物運搬工	廃プラスチック	台	1	
産業廃棄物処分工	廃プラスチック(大型土のう)	kg	442.5	
産業廃棄物処分工	廃プラスチック(土木シート)	kg	122.4	
5 仮設工		式	1	(参考数量)
(1) 作業ヤード進入路工		式	1	(参考数量)
路体盛土		m3	141	(参考数量)
運土工		m3	157	(参考数量)
(2) 足場工		式	1	(参考数量)
護岸工	手摺先行型	掛m2	54.7	(参考数量)
吸水槽工	手摺先行型	掛m2	84.0	(参考数量)
ブロック積工	手摺先行型	掛m2	70.7	(参考数量)
(3) 敷鉄板		式	1	(参考数量)
仮設進入路		m2	534	(参考数量)
資材置場		m2	204	(参考数量)
作業ヤード		m2	234	(参考数量)
(4) 大型土のう工		式	1	(参考数量)
大型土のう設置撤去		袋	177	(参考数量)
(5) 土木シート設置撤去		式	1	(参考数量)
土木シート敷設・撤去		m2	204	(参考数量)
(6) 水替工		式	1	(参考数量)
水替工設置・撤去		箇所	1	(参考数量)
(7) 安全費		式	1	(参考数量)
交通誘導員		人	25	(参考数量)
(8) 仮設進入路工		式	1	(参考数量)
ガードパイプ撤去復旧		m	8.0	(参考数量)
ガードレール撤去復旧		m	8.0	(参考数量)
塩ビ管布設		m	4.0	(参考数量)
歩車道境界ブロック撤去設置		m	6.0	(参考数量)
6 運搬費		式	1	(参考数量)
仮設材運搬工	敷鉄板 802kg/枚 (22×1,524×3,048)	ton	167.82	
7 技術管理費				
出来高測量		ha	0.07	

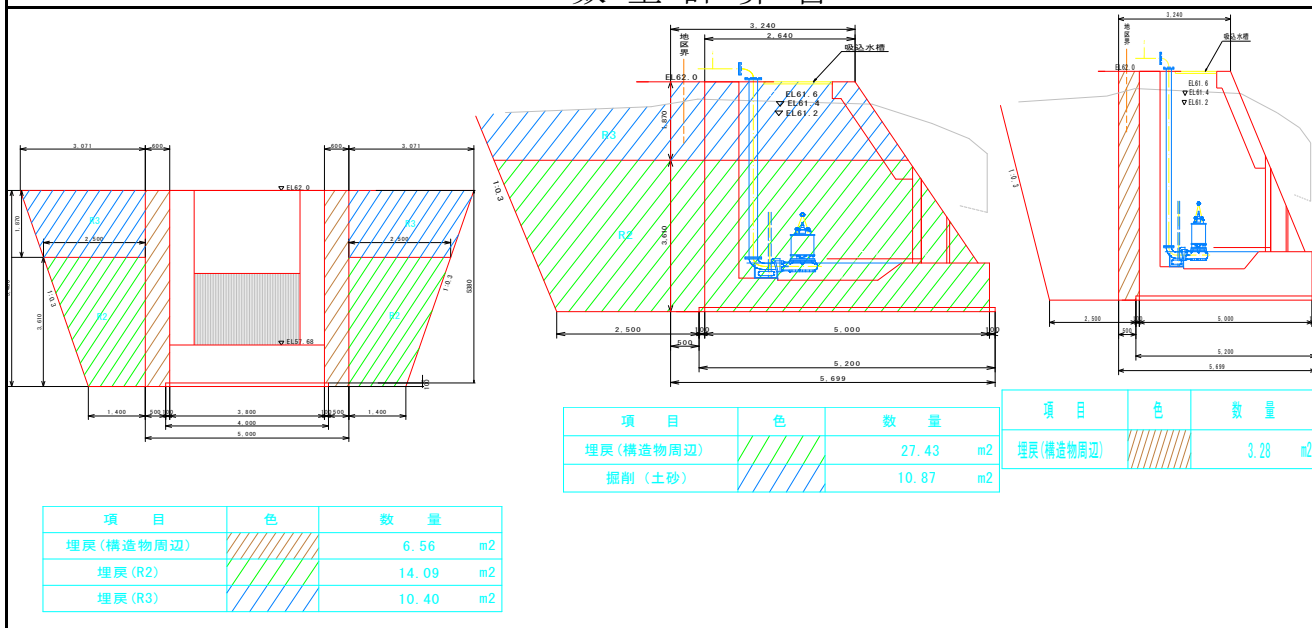
土 工

数 量 計 算 書



項 目	色	数 量
床掘 (土砂) 側点 1		21.15 m2
掘削 (泥岩)		27.08 m2

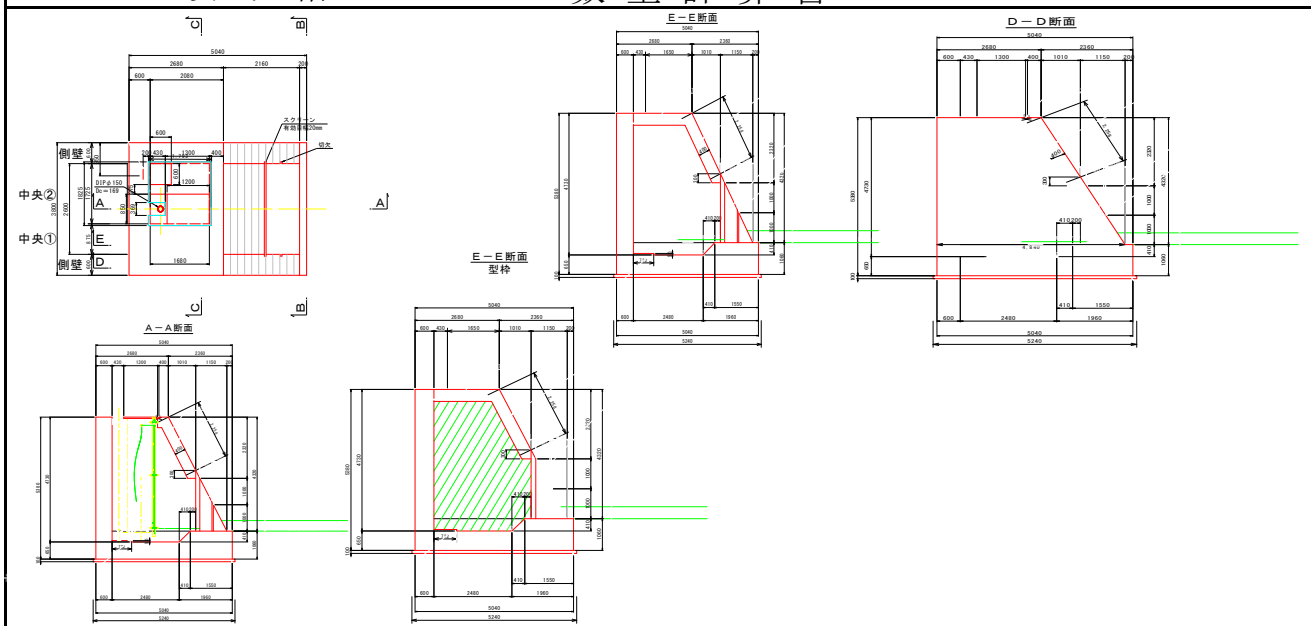
名 称	規格	計 算 式		数 量
掘削(土砂)	BH(0.8m3)掘削	吸水槽	$21.15 \times (9.241 + 10.898) / 2 = 212.97$	
		護岸上流	$5.1 \times (10.204 - (2.720 + 3.549) / 2) = 54.92$	
		護岸下流	吸水槽部分内で計上	
		ブロック積	$11.6 \times (11.97 + 10.22) / 2 = 128.70$	397 m3
掘削(軟岩)	BH(0.8m3)掘削	吸水槽	$27.08 \times (7.800 + 9.241) / 2 = 230.74$	
		護岸上流	$5.4 \times (10.204 - (2 + 2.72) / 2) = 42.36$	
		護岸下流	$4.0 \times (2.82 - (2 + 2.72) / 2) = 1.84$	275 m3
				
上流部分		下流部分		
				
掘削 (土砂)		掘削 (土砂)		
掘削 (岩)		掘削 (岩)		
掘削 (土砂)		掘削 (土砂)		
掘削 (岩)		掘削 (岩)		



名称	規格	計算式		数量
土砂機械投入		(16.4+25.06+51.9+106.98+39.6+60.56+110.9+212.6)/0.9	= 693.33	693 m3
人力埋戻R1	人力まきだし	吸水槽 3.28×5.00	= 16.40	
		吸水槽 6.56×(5.0+2.64)/2	= 25.06	
		別添数量計算書参照	= 51.90	93 m3
機械埋戻R2	R2(振動ローラ ハンドガイド式)	吸水槽 27.43×(1.4+2.5)/2*2	= 106.98	
		揚水機場 別添数量計算書参照	= 39.60	147 m3
機械埋戻R3	R3(振動ローラ ハンドガイド式)	吸水槽 10.87×(2.5+3.071)/2*2	= 60.56	
		揚水機場 別添数量計算書参照	= 110.90	171 m3
機械埋戻R4	R4(振動ローラ ハンドガイド式)	揚水機場 別添数量計算書参照	= 212.60	213 m3
整地		((212.97+54.92+128.7+230.74+42.36+1.84)-(16.4+25.06+51.9+106.98+39.6+60.56+110.9)/0.9	= 52.81	53 m3
法面整形	盛土法面整形	別添数量計算書参照	= 71.30	
		4.123×3.5	= 14.43	
		1.608×3.5×2	= 11.26	97 m2

吸水槽工

数量計算書



名 称	規格	計 算 式		数 量
基面整正		5.24×4.00	$= 20.80$	20.8 m ²
基礎コンクリート打設工	18-8-25	$5.24 \times 4.00 \times 0.10$	$= 2.10$	2.1 m ³
型枠工	基礎コンクリート	$(5.24 + 4.00) \times 0.10 \times 2$	$= 1.848$	1.8 m ²
コンクリート打設工	21-8-25	側壁	$(2.68 + 4.84) / 2 \times 4.32 \times 0.6 \times 2$	$= 19.492$
			$5.04 \times 1.06 \times 0.6 \times 2$	$= 6.411$
		中央①	$4.73 \times 0.6 \times 0.875$	$= 2.483$
			1.7×0.875	$= 1.488$
		中央②	$5.04 \times 0.65 \times 0.875$	$= 2.867$
			$(1.55 + 1.96) / 2 \times 0.41 \times 0.875$	$= 0.630$
			$4.73 \times 0.6 \times 1.725$	$= 4.896$
			1.0×1.725	$= 1.725$
			$5.04 \times 0.65 \times 1.725$	$= 5.651$
			$(1.55 + 1.96) / 2 \times 0.41 \times 1.725$	$= 1.241$
		計		46.88
				46.9 m ³

吸水槽工

数量計算書

名 称	規格	計 算 式		数 量
型枠工	鉄筋コンクリート	側壁	$(2.68 + 4.84) / 2 \times 4.32 \times 2 = 32.486$	
			$5.04 \times 1.06 \times 2 = 10.685$	
		背面	$5.38 \times 3.8 = 20.444$	
		側壁前面	$4.83 \times 0.6 \times 2 = 5.796$	
			$3.8 \times 1.06 = 4.028$	
			$3.8 \times 0.2 = 0.760$	
			$2.258 \times 2.6 = 5.871$	
		内部	$11.69 \times 2 = 23.380$	
			$(2.147 + 0.297 + 0.3) \times 2.6 = 7.134$	
			$4.280 \times 2.6 = 11.128$	
			$1.833 \times 2.6 = 4.766$	
			計 126.48	126.5 m2
鉄筋工	D13	SD345	$1187.0 \div 1000 = 1.187$	1.187 t
	D19	SD345	$458.4 \div 1000 = 0.458$	0.458 t
	D29	SD345	$2549.8 \div 1000 = 2.550$	2.550 t
足掛金物設置工	φ19(300B)			15 個
縞鋼板設置工	t=4.5mm、□700×700			1 枚
グレーチング設置工	□1640×850(切欠□440×370) 受枠ボルトナット付			1 枚

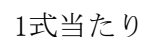


数量計算書

[illegible]

数量計算書

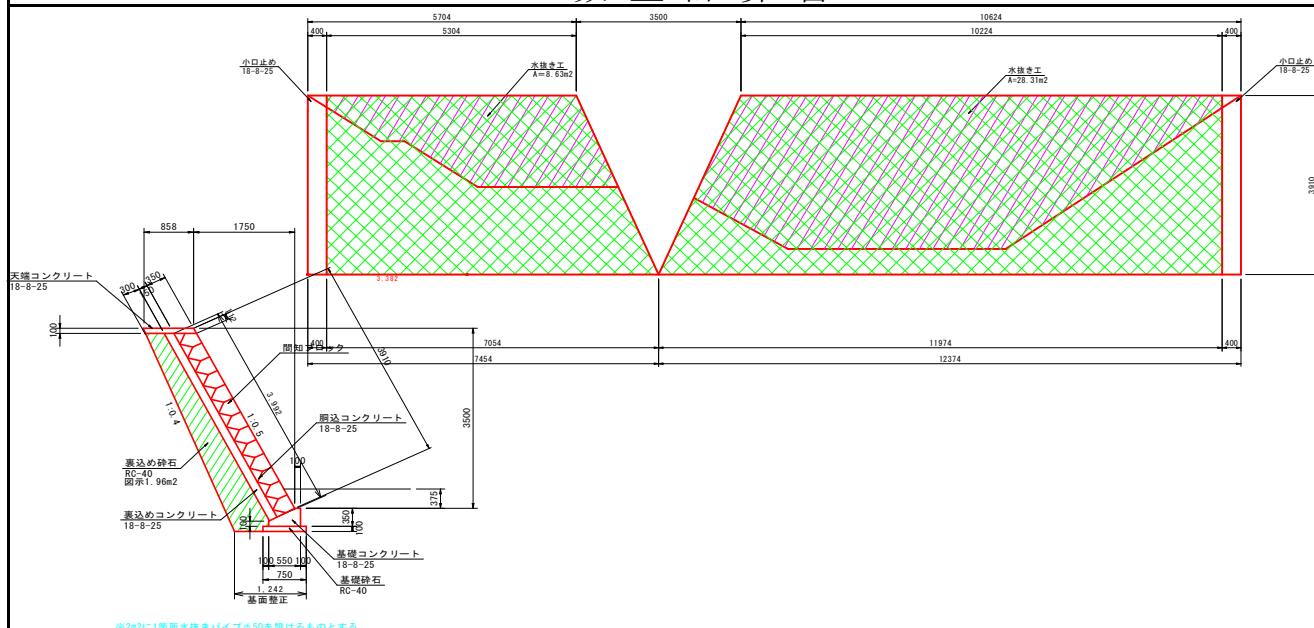
S=1 : 50



#NAME?

ブロック積工

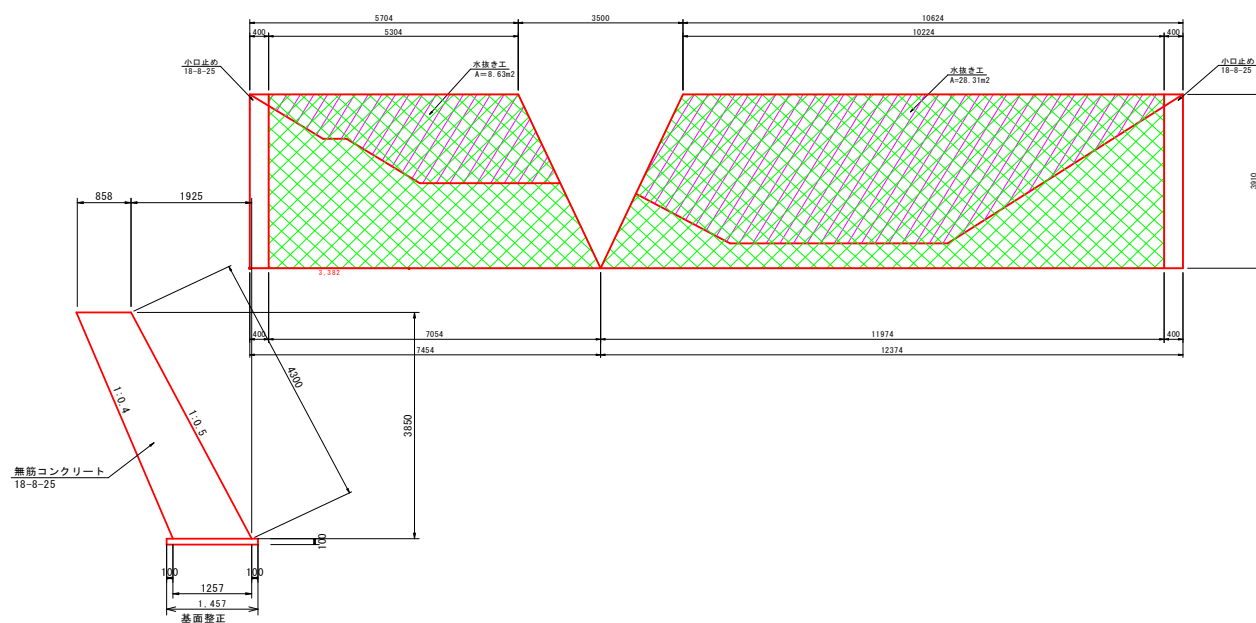
数量計算書

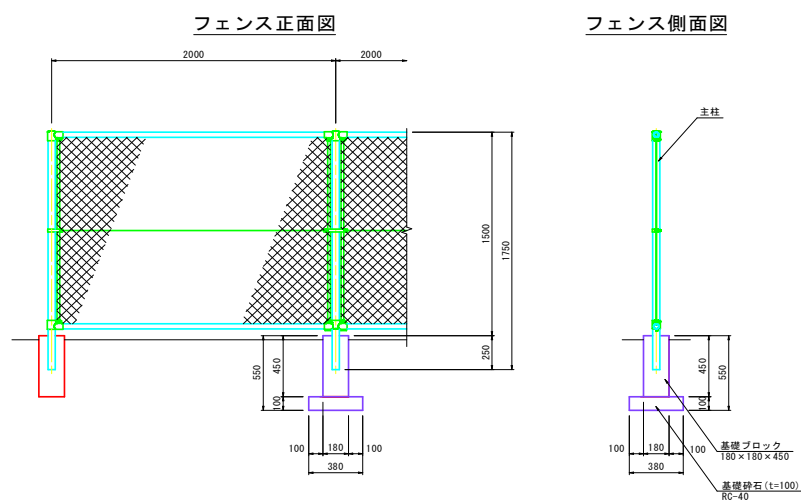


名 称	規格	計 算 式		数 量
基面整正		ブロック積	$1.242 \times (7.05 + 11.97) = 23.623$	
		小口止め	$1.457 \times 0.4 \times 2 = 1.166$	24.79 m2
基礎碎石	RC-40, t=100	ブロック積	$0.75 \times (7.05 + 11.97) = 14.265$	
		小口止め	$1.457 \times 0.5 = 0.729$	14.99 m2
基礎コンクリート	18-8-25		$((0.1 + 0.35) / 2 \times (0.1 + 0.55) / 2) \times (7.05 + 11.97) = 1.391$	1.391 m3
同上型枠			$(0.10 + 0.35) \times (7.05 + 11.97) = 8.559$	
			$(0.1 + 0.35) / 2 \times (0.1 + 0.55) / 2 = 0.073$	8.632 m2
コンクリート積ブロック工	150kg/個未満	左側	$(7.05 + 5.30) / 2 \times 3.91 = 24.144$	
		右側	$(11.97 + 10.22) / 2 \times 3.91 = 43.381$	67.525 m2
水抜きパイプ	φ50 フィルター付		$(2m2に1箇所)、8.63 + 28.31 = 36.940$	36.940 m3

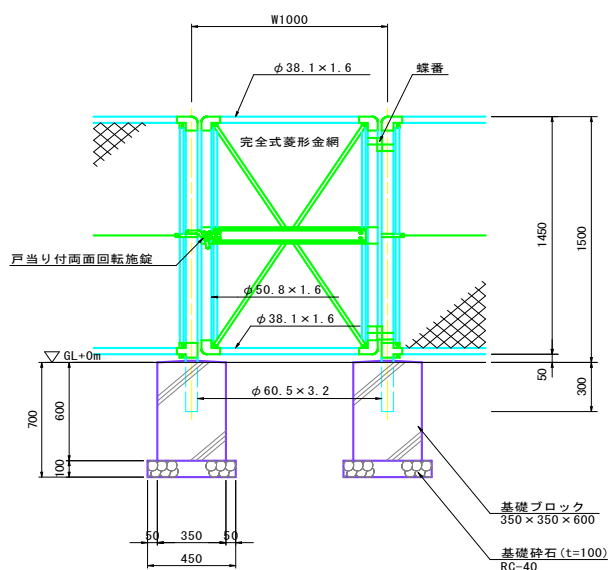
胴込・裏込コンクリート工は「コンクリート積ブロック工」内で計上

裏込碎石	RC-40	左側	$1.96 \times (7.05 + 5.30) / 2 = 12.103$	
		右側	$1.96 \times (11.97 + 10.22) / 2 = 21.746$	33.849 m3
天端コンクリート	18-8-25		$0.86 \times 0.10 \times (5.30 + 10.22) = 1.335$	1.335 m3
胴込・裏込コンクリート、天端コンクリートの型枠は単価内で計上				

[illegible]

[illegible]

数量計算書

[illegible]

1－（１）整地工 数量調書

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

耕 区 番 号	区分	計画高	計画面積 (㎡)	基盤切盛（ブル掘削押土）	搬入土整地（ブル押土）		整地 (ha)	搬出土量			搬入土量		備 考
				(m3)	工区内 (m3)	工区外 (m3)		水田表土 (m³)	畑作土 (m³)	道路路盤土 (m³)	耕区内 (m³)	耕区外 (m³)	
12耕区	畑	65.00	662	810		810	0.07	0	0	0	0	810	
合 計			662	810	0	810	0.07	0	0	0	0	810	

ほ場整備整地工 【土量計算書】

[illegible]

ほ場整備整地工 【計画高計算書】

(土量変化率 1:1.00)

[illegible]

ほ場整備整地工 【計画面積計算書】

[illegible]

1－（２）整地工（運土） 数量調書

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

搬 出		搬 入				ダンブトラック (m3)	ブルドーザ掘削押土 (m3)	不整地運搬 (不整地運搬車 クローラ型油圧ダンプ式 8.0～11t) (m³)					備 考
						(1次運土)	(二次運土)	(二次運土)					
搬出地点	地山土量 (m³)	搬入地点	地山土量 (m³)	搬入土量 (m³)	運土距離 (m)	1～1.5km	60m以下 (隣接地)	80m以下	81～180m	181～310m	311～400m	401m～	
ストックヤードから運搬	810	耕区72-2	810	900		900							
耕区72-2	810	畑12	810	900	76			900					
合 計	810	0	810	900	76	900	0	900	0	0	0	0	

1－（3）整地付帯工 数量調書

大楠向小羽戸場水機場及び区画整理工事

耕区番号	区分	法面整形工				備 考
		2型 (田差0.30～0.59m)	5型 (田差1.50～1.99m)	7型 (田差2.50～2.99m)	9型 (田差3.50～3.99m)	
		延長 m	延長 m	延長 m	延長 m	
12耕区	畑	36.9	3.6	4.1	20.1	
合 計		36.9	3.6	4.1	20.1	

2- (1) 耕作道路工 数量調書 (1/2)

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

道路番号	計画道路延長	計画道路幅員	施工幅員	道路計画高	左右平均高	隣 接 耕 区						道路タイプ	左右高低差(H) (m)	法面のタイプ別延長 (m)								備 考				
	耕作道路	耕作道路	耕作道路	耕作道路	耕作道路	左 側			右 側					A型	B型		C型	D型		E型	F型					
						耕区番号	区分	計画高 (m)	耕区番号	区分	計画高 (m)				0.00～0.29	0.30～0.59		0.60～0.99	1.00～1.49				1.50～1.99	2.00～2.49		
																3型			1型						3型	1型
ト-耕-1-1	6.00	5.0	5.0	68.0	65.56	12	畑	65.00			66.11	F-3	2.19									6.0				
	23.00	5.0	5.0	67.3	65.56	12	畑	65.00			66.11	D-3	1.46					23.0								
	15.00	5.0	5.0	66.2	64.37	12	畑	65.00			63.74	D-3	1.48					15.0								
	6.80	5.0	5.0	65.5	65.00	12	畑	65.00			63.74	A-3	0.15	6.8												
	3.60	5.0	5.0	65.1	64.37	12	畑	65.00			63.74	A-3	0.43			3.6										
	23.60	5.0	5.0	65.0	64.12	農業用施設用地	－	65.00			63.23	A-1	0.59			23.6										
	3.80	5.0	5.0	64.9	62.85	農業用施設用地	－	63.00			62.69	D-1	1.71						3.8							
	6.20	5.0	5.0	64.5	63.40	農業用施設用地	－	63.00			63.79	C-1	0.77				6.2									
	10.00	5.0	5.0	63.8	62.51	農業用施設用地	－	63.00			62.02	A-1	1.02					10.0								
	4.00	5.0	5.0	63.4	62.68	農業用施設用地	－	64.00			61.35		0.46		4.0											
	6.00	5.0	5.0	63.2	61.70	農業用施設用地	－	61.70			61.35		1.19					6.0								
	108.0																									
合 計	108.0													6.8	4.0	27.2	6.2	16.0	38.0	3.8	6.0					

2 - (1) 耕作道路工 数量調書 (2 / 2)

大楠向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

道路番号	計画道路							路床盛土量								備 考
								既設道路 控除					地山土量	搬入土量	必要土量	
	延長	全幅員	計画高	現況地盤	高さ	土量	路床盛土量									
	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m3)	(m3)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m3)	(m3)	①×(1/0.9)	(m3)	
ト-耕-1-1	6.0	5.0	68.0	67.02	1.02	37.0	37.0						37	41	1,019.0	
	23.0	5.0	67.3	65.50	1.82	285.0	285.0						285	317		
	15.0	5.0	66.2	64.50	1.65	165.0	165.0						165	183		
	6.8	5.0	65.5	64.00	1.45	64.0	64.0						64	71		
	3.6	5.0	65.1	64.00	1.10	24.0	24.0						24	27		
	23.6	5.0	65.0	63.75	1.25	184.0	184.0						184	204		
	3.8	5.0	64.9	63.50	1.35	33.0	33.0						33	37		
	6.2	5.0	64.5	62.75	1.72	71.0	71.0						71	79		
	10.0	5.0	63.8	63.13	0.70	40.0	40.0						40	44		
	4.0	5.0	63.4	63.06	0.37	8.0	8.0						8	9		
6.0	5.0	63.2	63.01	0.18	6.0	6.0						6	7			
合 計	108					917	917						917	1,019	1,019.0	残

2 - (2) 道路用土運土工 数量調書

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

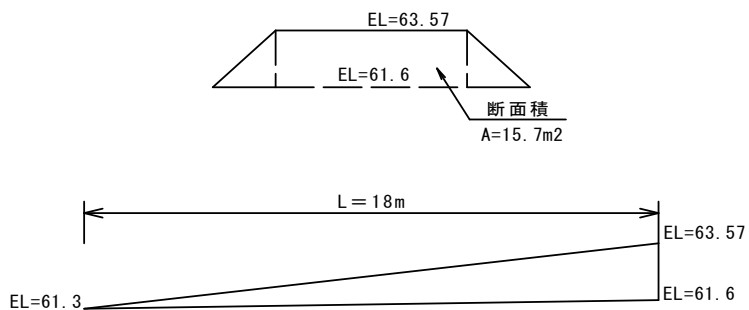
搬 出			搬 入			ダンプトラック (m3) (1次運土)			ブルドーザ掘削押土 (m3) (二次運土)	不整地運搬 (m³) 不整地運搬車 クローラ型油圧ダンプ式 8.0～11t (二次運土)				備 考
搬出地点		土量 (m³)	搬入地点	搬入土量 (m³)	運土距離 (m)	0.3km以下	0.3～0.5km	0.5～1km	60m以下 (隣接地)	80m以下	81～180m	181～310m	311～400m	
耕区	道路NO													
耕区72-2		1,019	ト-耕-1-1	639	24				639					
				380	73					380				
合 計								0	639	380	0	0	0	

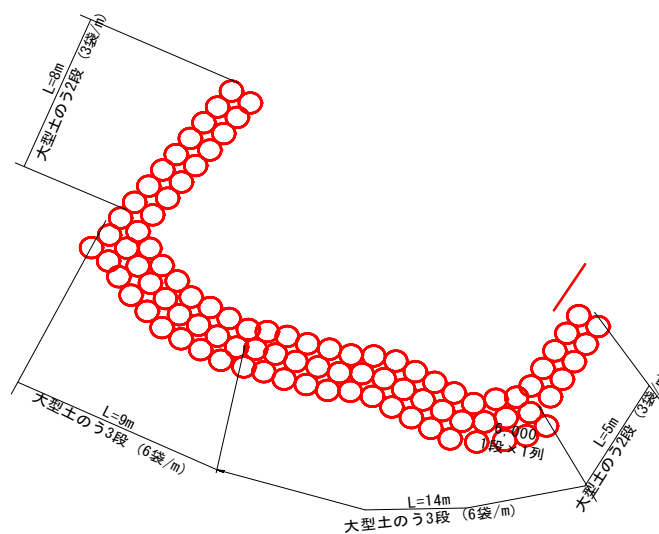
- 4 処分工 数量調書
- 5 仮設工 数量調書
- 6 運搬費 数量調書

大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

ほ区番号	処分工			作業ヤード進入路工		足場工			敷 鉄 板			敷 鉄 板 搬入・搬出	大型土の う	土木シー ト	水替工	交通誘導 員	仮設進入路工				備 考
	廃ブラ	廃ブラ (大型土 のう)	廃ブラ (土木 シート)	路体盛土	運土工(L =60m以 内)	護岸工	吸水槽工	ブロック積工	路線延長	設置幅 (m)	面積	重量		面積	箇所	人	ガードパイプ 撤去復旧	ガードレール 撤去復旧	雄ビ管布設	歩車道境界ブ ロック撤去設 置	
単位	台	kg	kg	m3	m3	掛m2	掛m2	掛m2	m	m	m2	t	袋	m2			m	m	m	m	
トー耕1~1									89.0	6.0	534.0	92.20				25					仮設進入路
ほ区72~1	揚水機場用地		122.4						34.0	6.0	204.0	35.22		204.0							資材置場(土木 シートは2m2当た り0.6kg)
				141	157			70.7			234.0	40.40									作業ヤード
夷隅川		1	442.5			54.7	84.0						177		1						(大型土のう1袋 は0.2m3/2.5kg)
黒道天津小湊裏園緑																	8	8	4	6	
合 計	1	442.5	122.4	141	157	54.7	84.0	70.7			972.0	167.82	177.0	204.0	1.0	25.0	8.0	8.0	4.0	6.0	

S=1 : 200

[illegible]

[illegible]

令和 8 年度

経営体育成基盤整備事業

大楠地区

大楠向小羽戸揚水機場及び区画整理工事

図 面 目 録

図面番号	図面の名称	縮 尺	枚 数	備 考
1	位 置 図	—	1	
2	揚 水 機 場 計 画 平 面 図	図示	1	
3	揚 水 機 場 計 画 横 断 図	図示	2	
4	吸 込 水 槽 構 造 図	図示	1	
5	吸 込 水 槽 配 筋 図	図示	4	
6	護 岸 工 構 造 図	図示	1	
7	ブ ロ ッ ク 積 工 構 造 図	図示	1	
8	安 全 施 設 工 構 造 図	図示	1	
9	計 画 平 面 図 (整 地 工 ・ 道 路 工)	図示	1	
10	道 路 工 標 準 断 面 図	図示	2	
参考1	揚 水 機 場 土 工 横 断 図	図示	3	参考
参考2	一次運土計画平面図(整地工)	図示	1	参考
参考3	二 次 運 土 計 画 平 面 図	図示	3	参考
参考4	仮 設 工 平 面 図	図示	2	参考
計			24	

経営体育成基盤整備事業 大楠地区 位置図

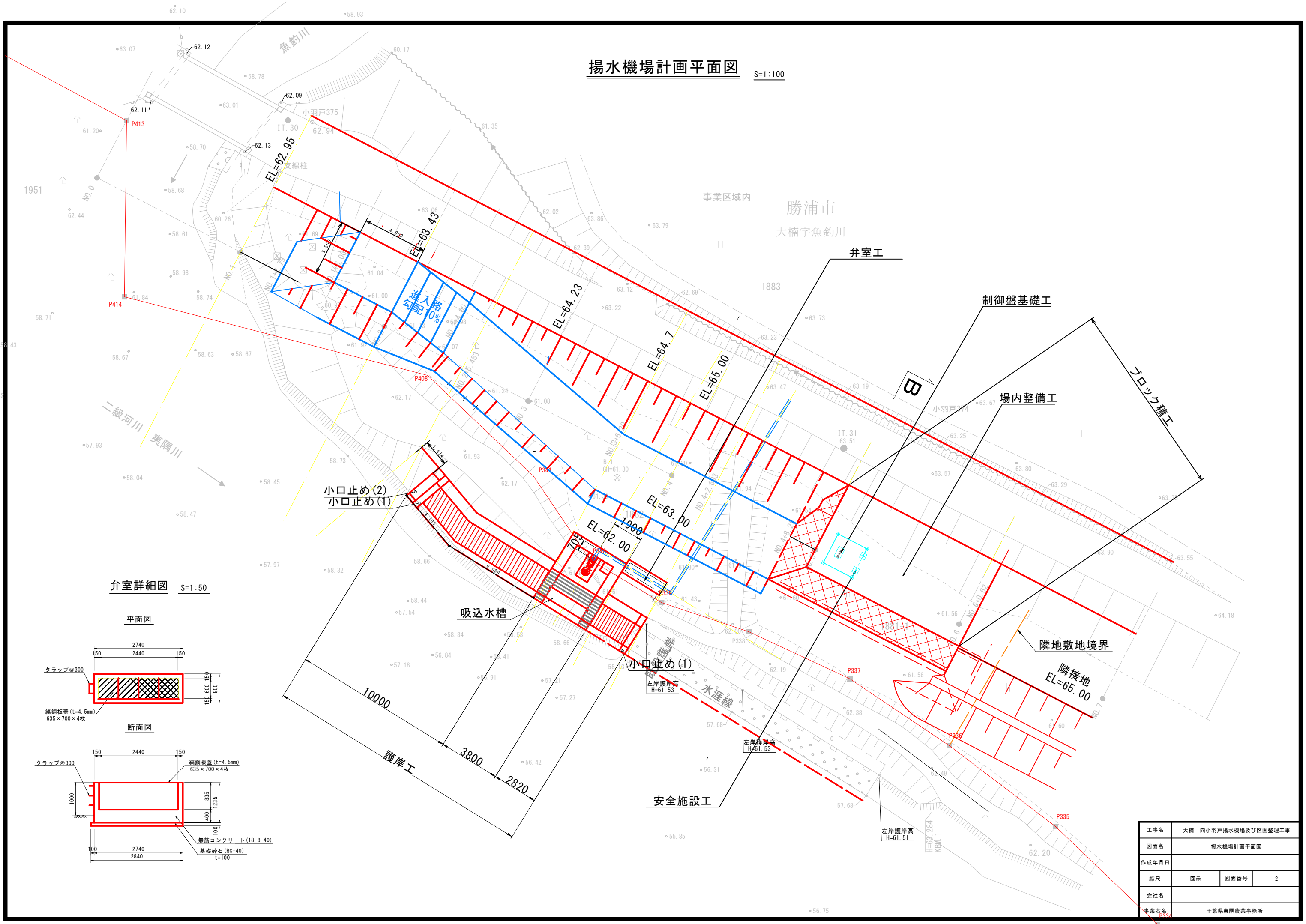


凡 例	
	國 道
	県 道
	指 定 河 川
	準 用 河 川

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。（承認番号 平16開復 第 292 号）」

揚水機場計画平面図

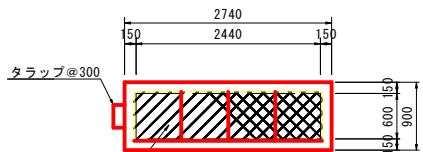
S=1:100



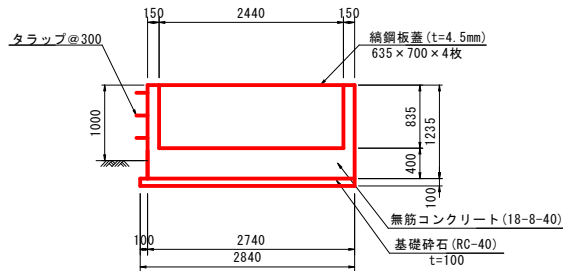
弁室詳細図

S=1:50

平面図

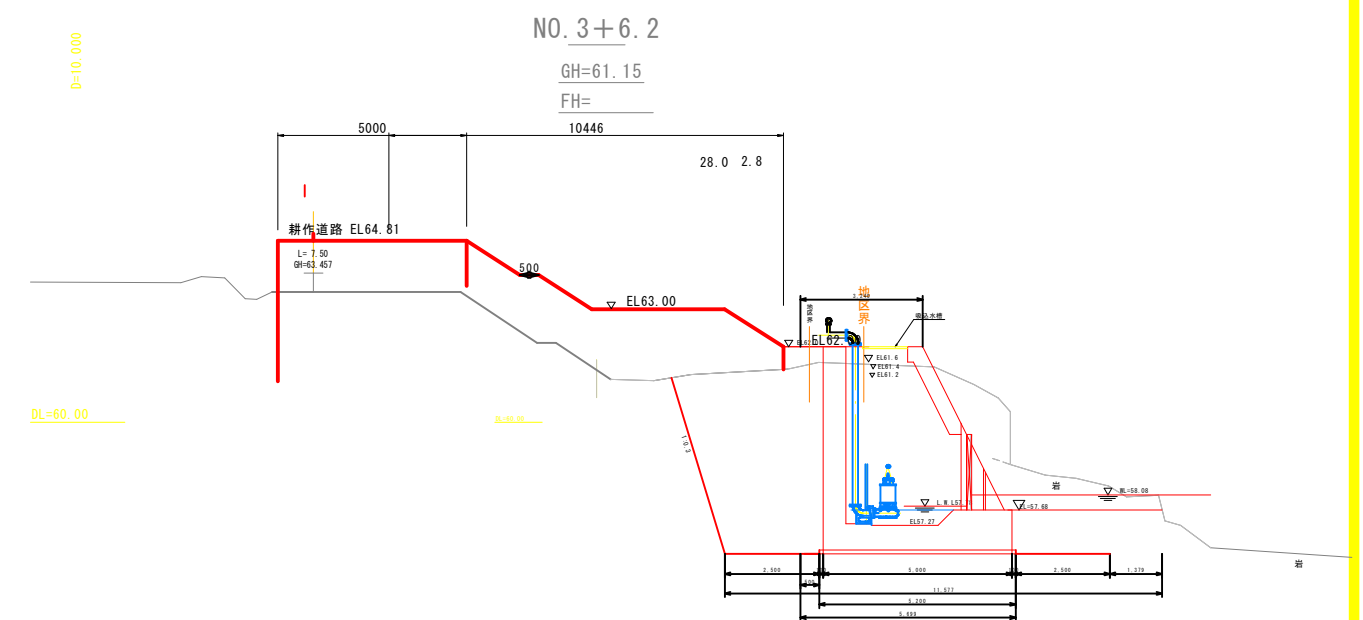
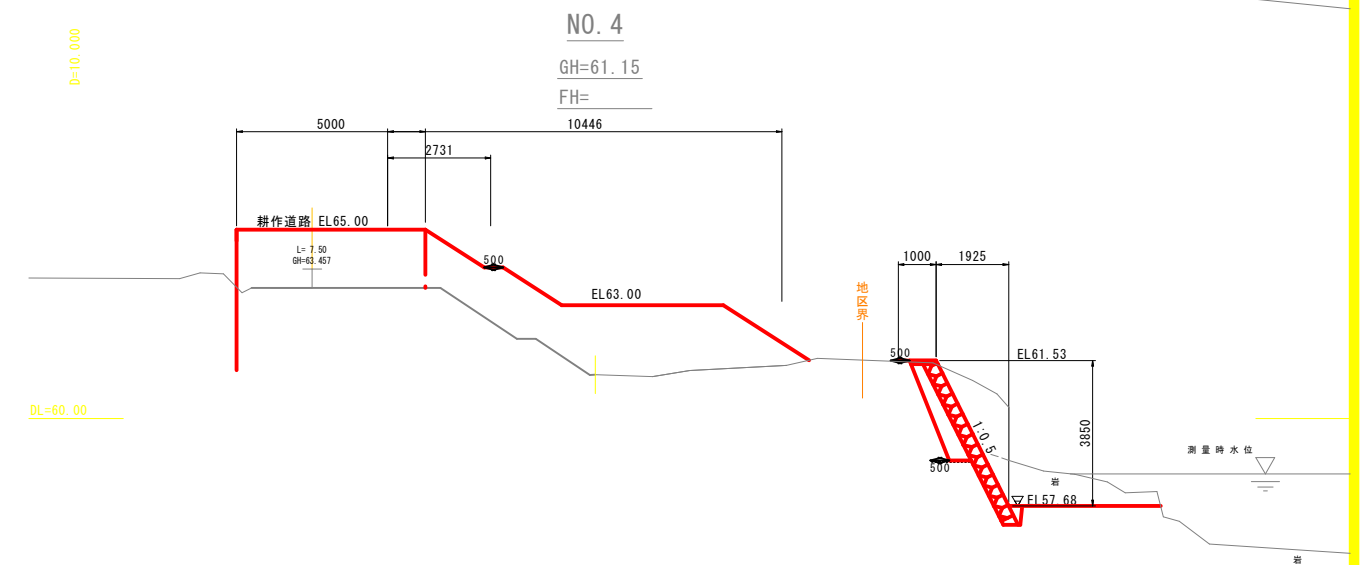
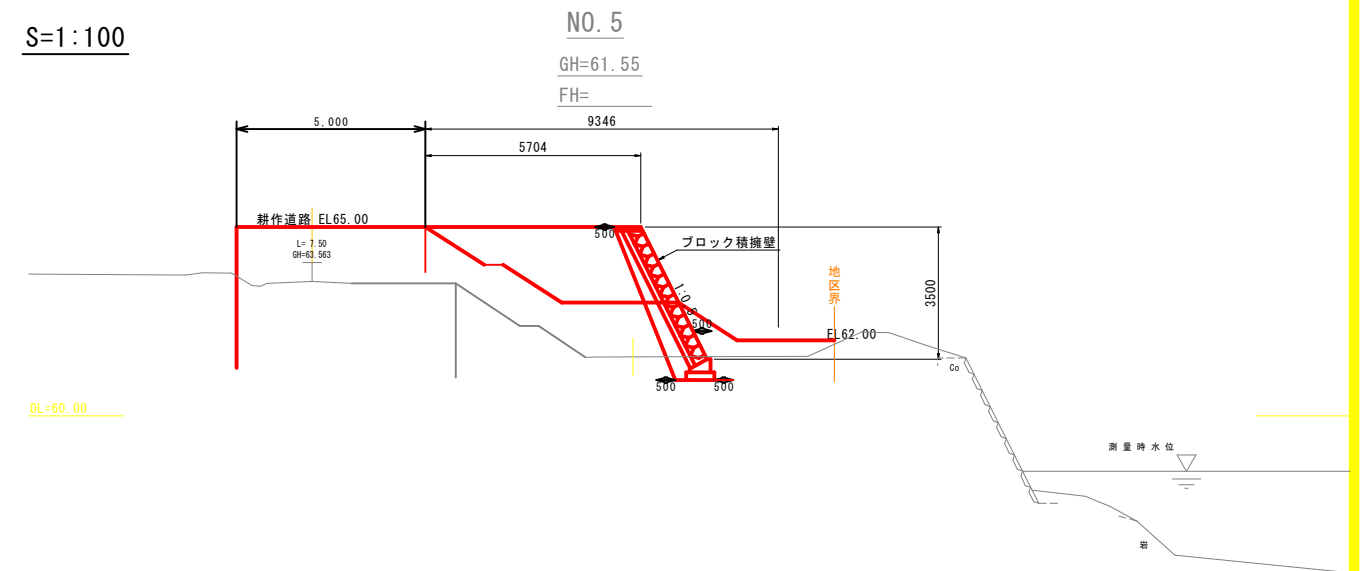


断面図



工事名	大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事		
図面名	揚水機場計画平面図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2
会社名			
事業者名	千葉県夷隅農業事務所		

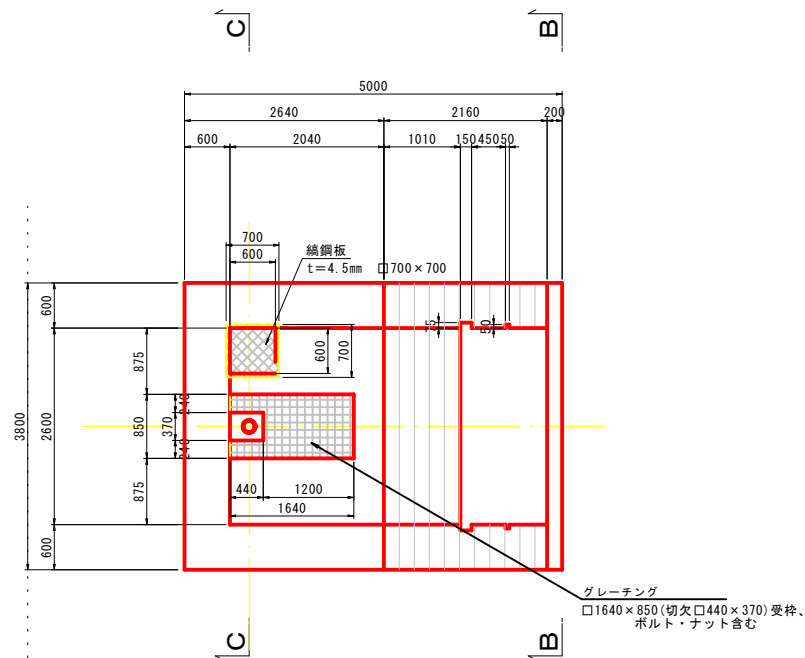
S=1 : 100



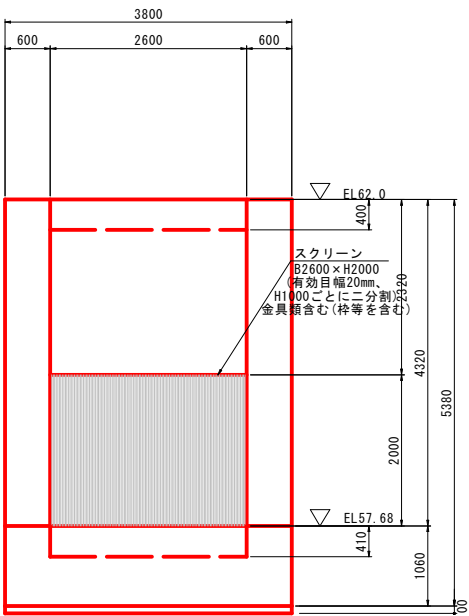
工事名	大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事		
図面名	揚水機場計画横断面		
作成年月日			
縮尺	1 : 100	図面番号	3
会社名			
事業者名	千葉県興農農業事務所		

吸込水槽構造図 S=1:50

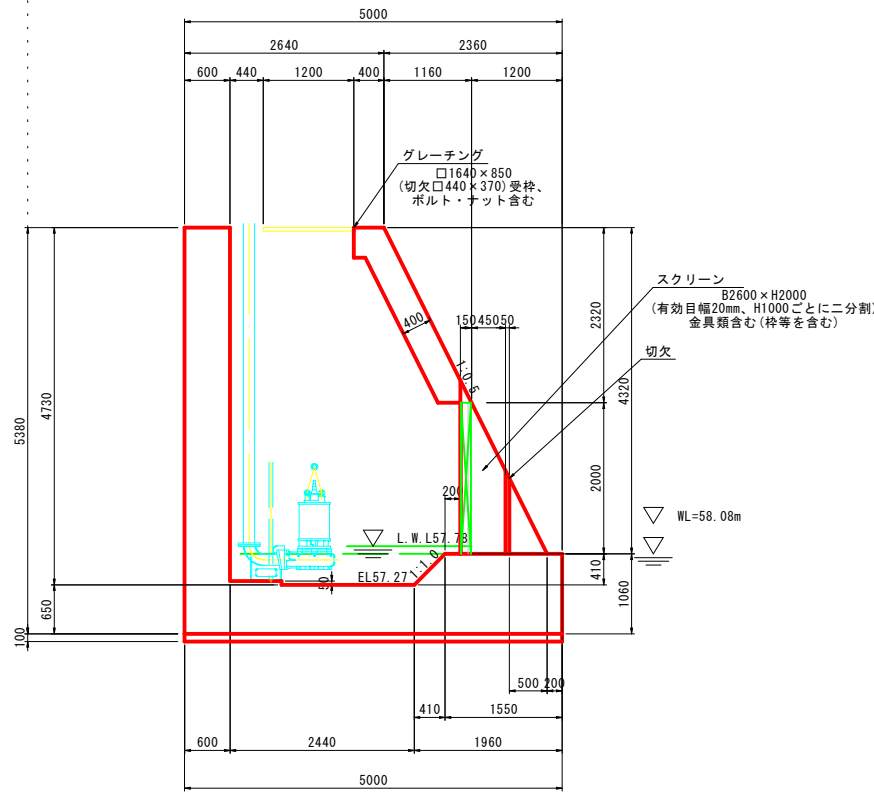
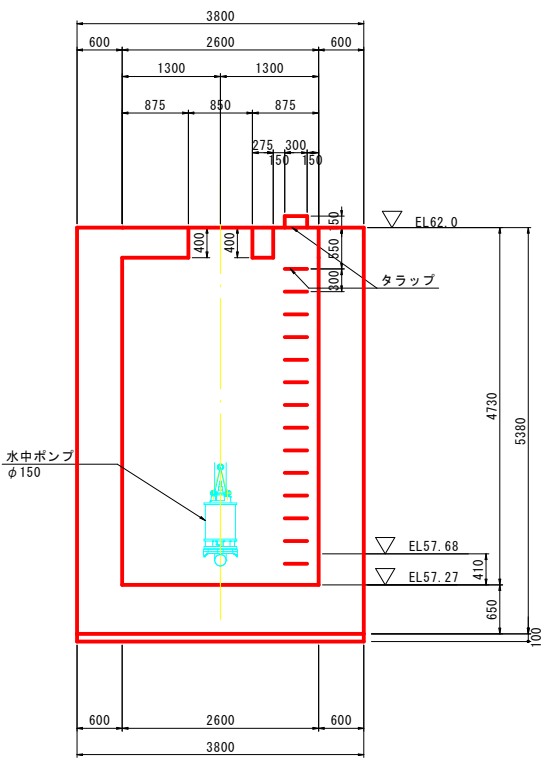
吸込水槽平面図



B-B断面

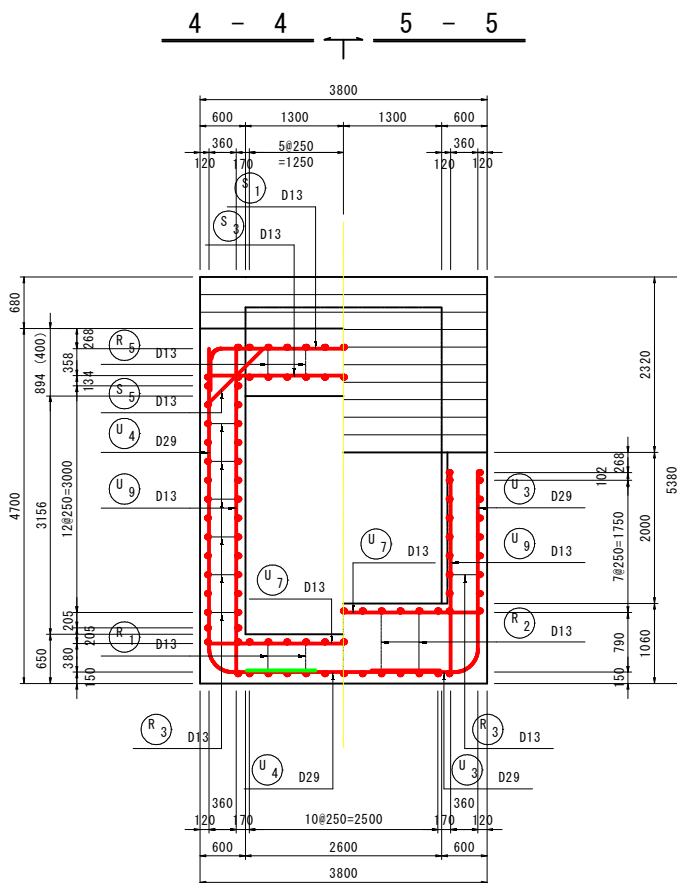
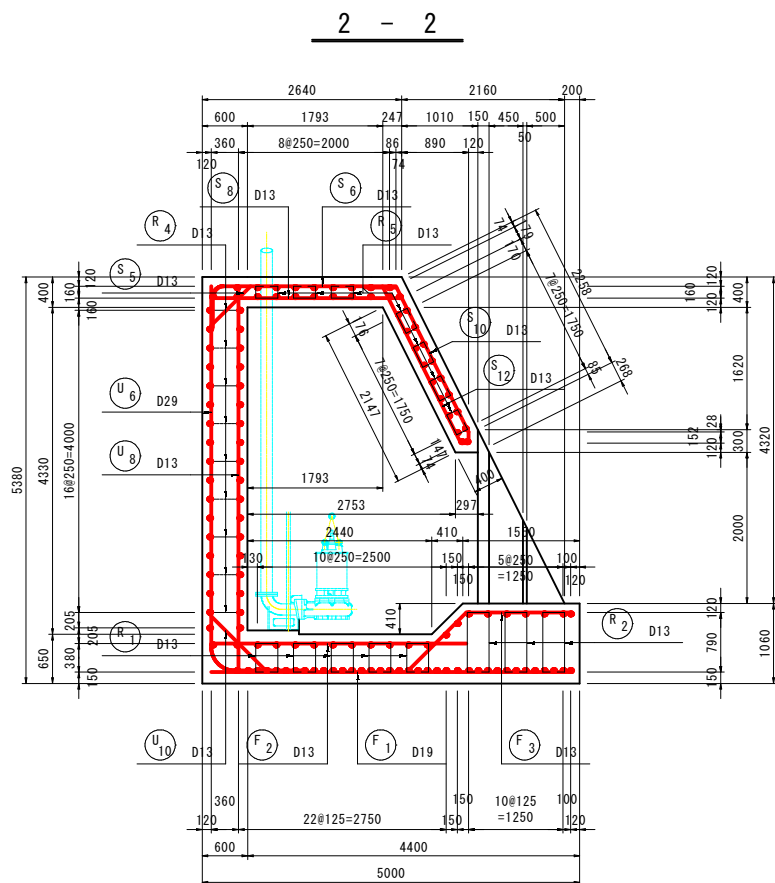
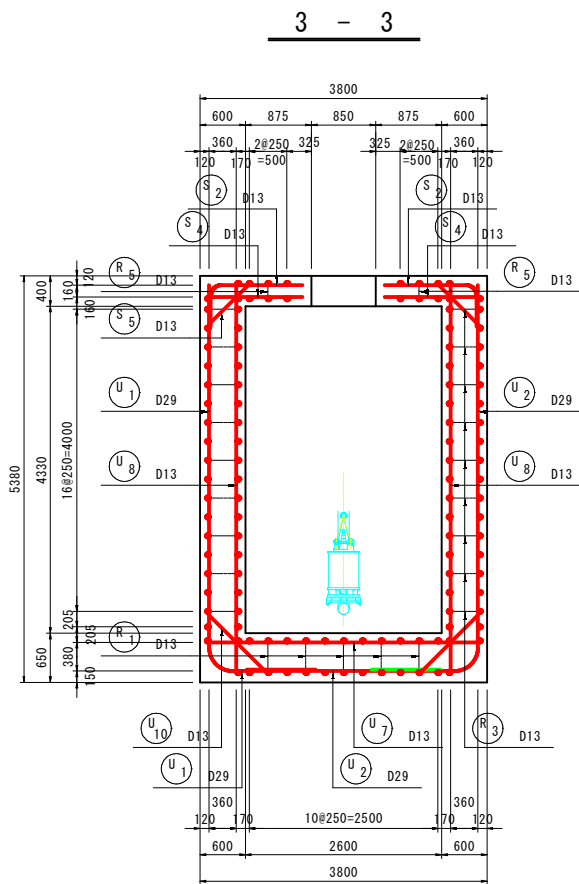
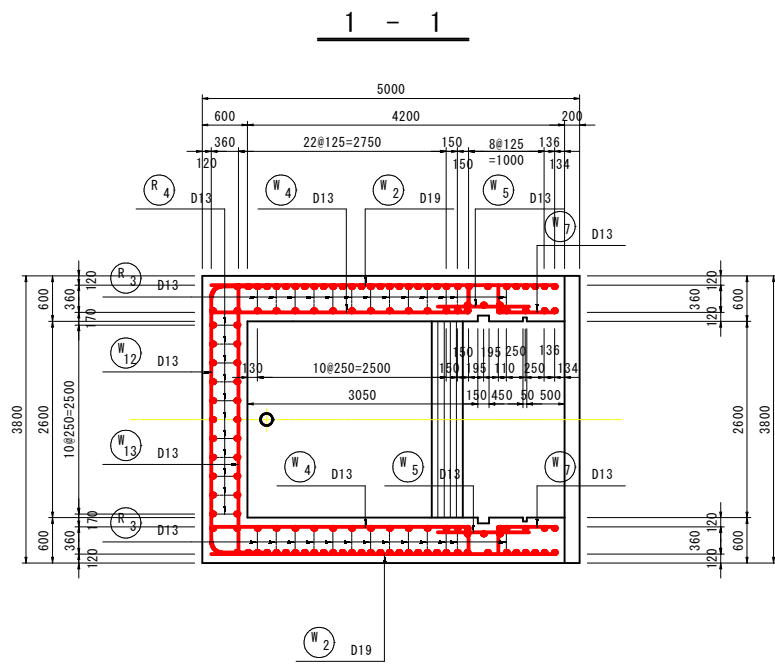


C-C断面

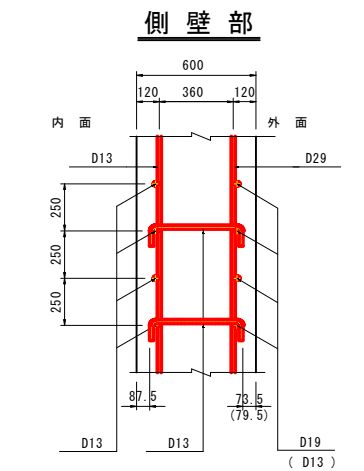
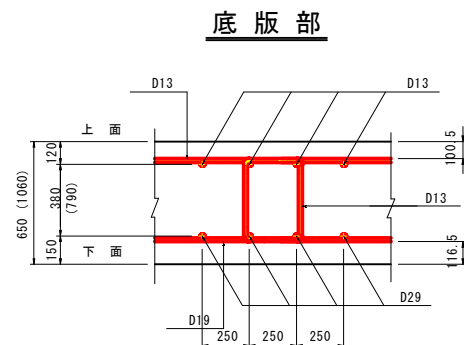
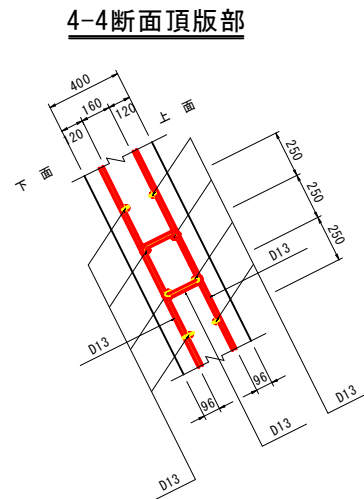
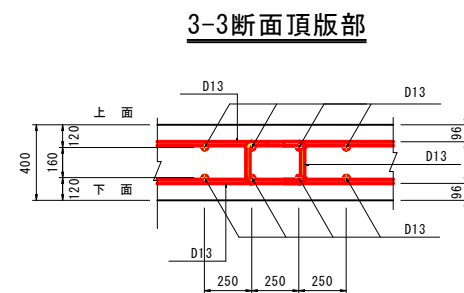


工事名	大楠向小羽戸排水機場及び区画整理工事		
図面名	吸込水槽構造図		
作成年月日			
縮尺	1 : 50	図面番号	4
会社名			
事業者名	千葉県農林事務所		

吸込水槽配筋図 (1/4) S=1:50

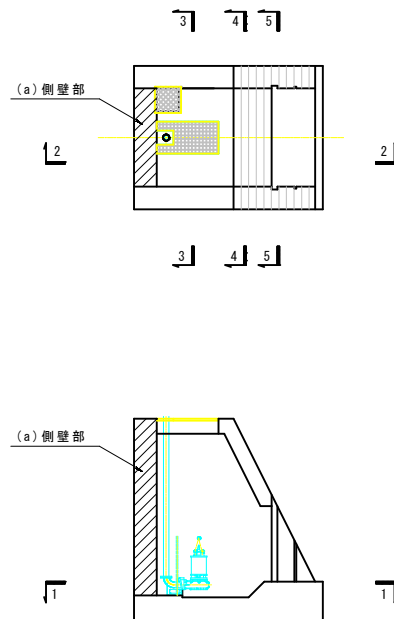


主鉄筋組立詳細図 S=1:20



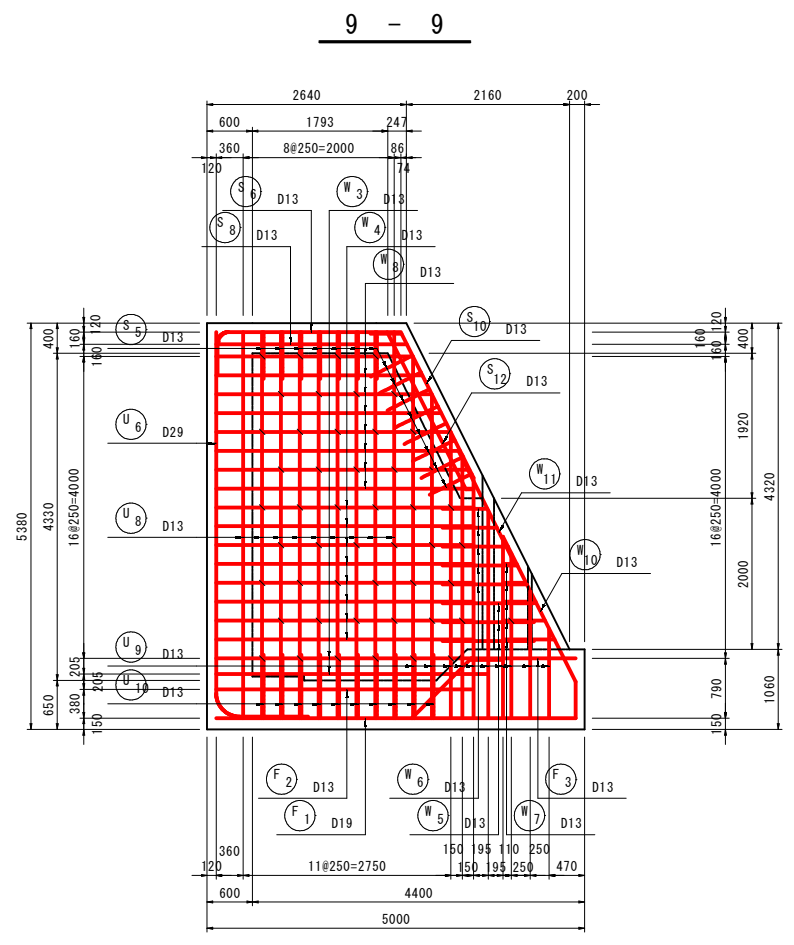
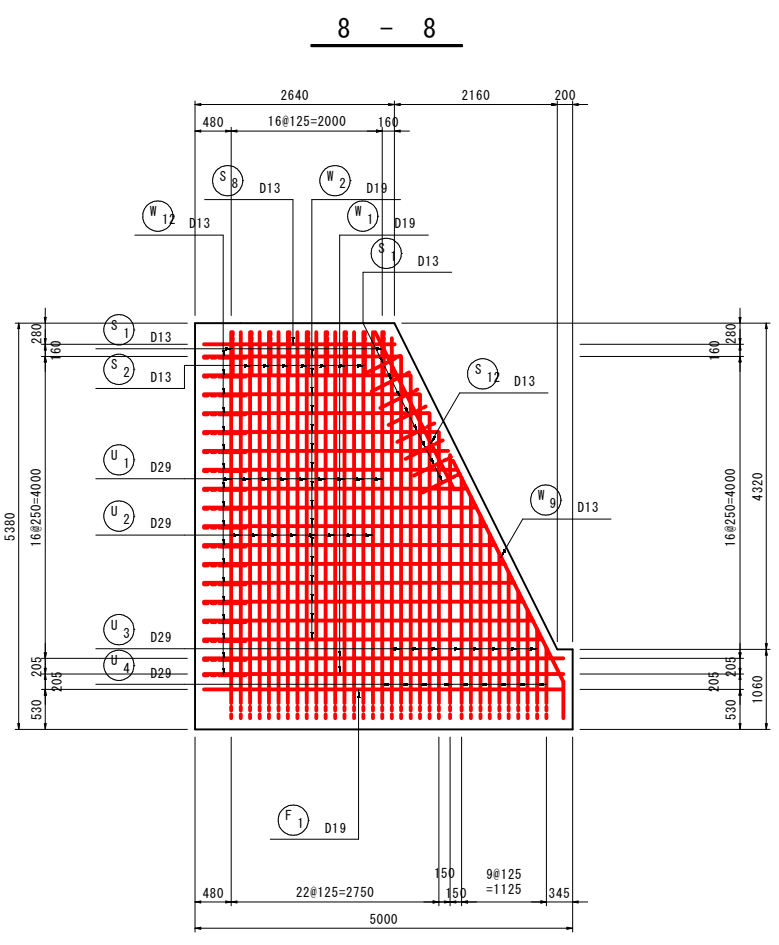
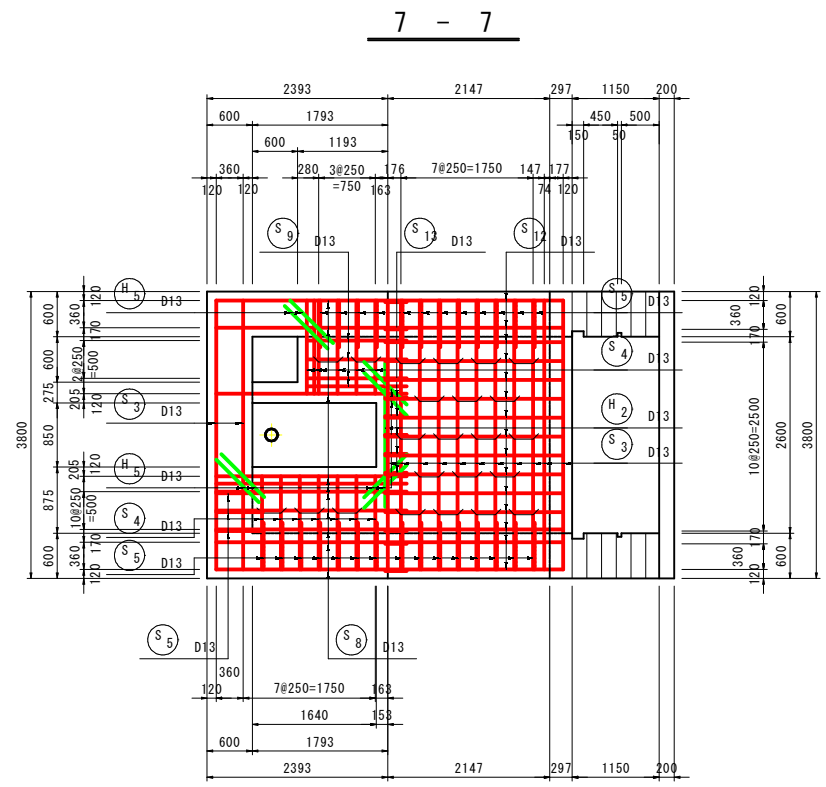
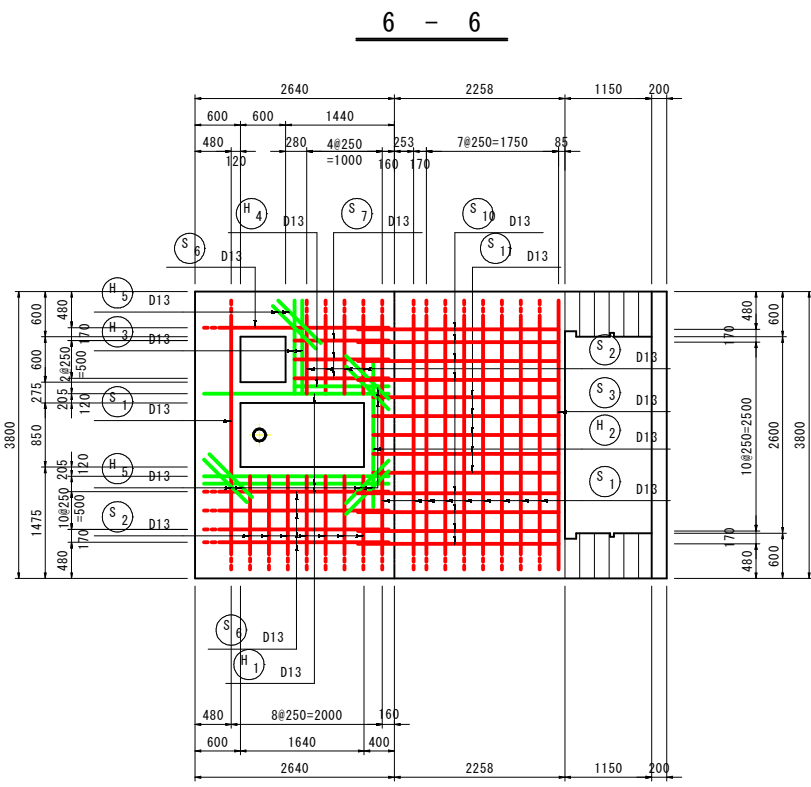
注：() 内鉄筋番号は
位置図 (a) 側壁部断面図を示す。

位置図

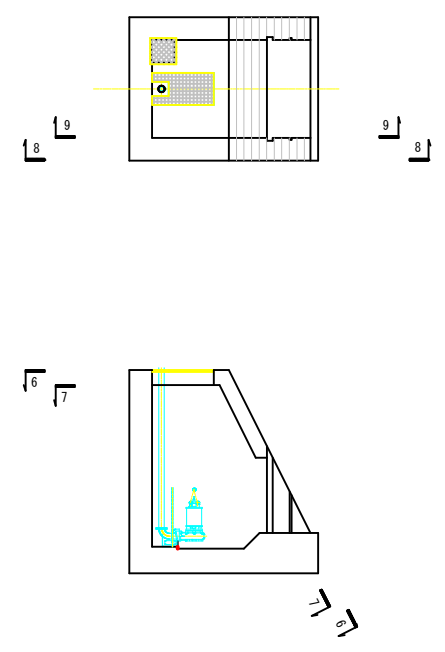


工事名	大橋向小羽戸排水機場及び区画整理工事		
図面名	吸込水槽配筋図 (1/4)		
作成年月日			
縮尺	1 : 50	図面番号	5-1
会社名			
事業者名	千葉県農林事務所		

吸込水槽配筋図 (2/4) S:1:50



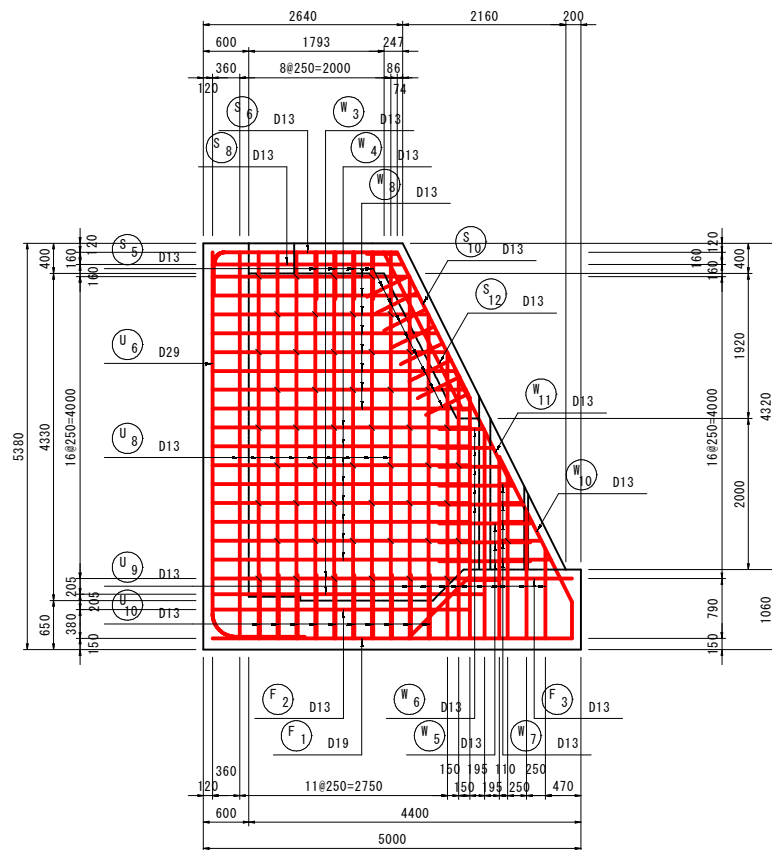
位置図



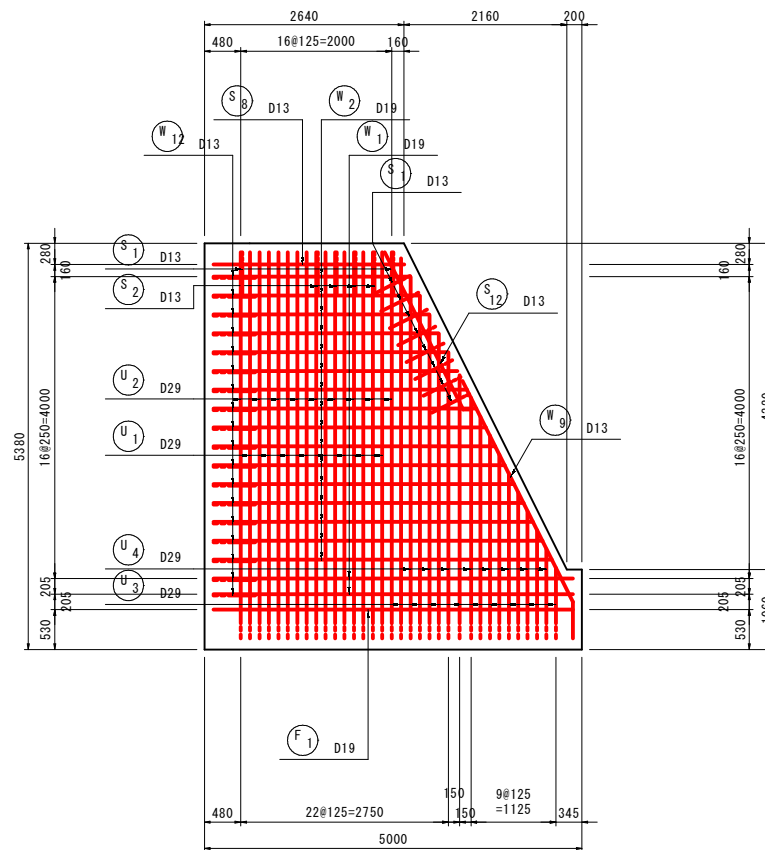
工事名	大橋向小羽戸掘り上げ機場及び区画整理工事		
図面名	吸込水槽配筋図 (2/4)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	5-2
会社名			
事業者名	千葉県農林事務所		

吸込水槽配筋図(3/4) S:1:50

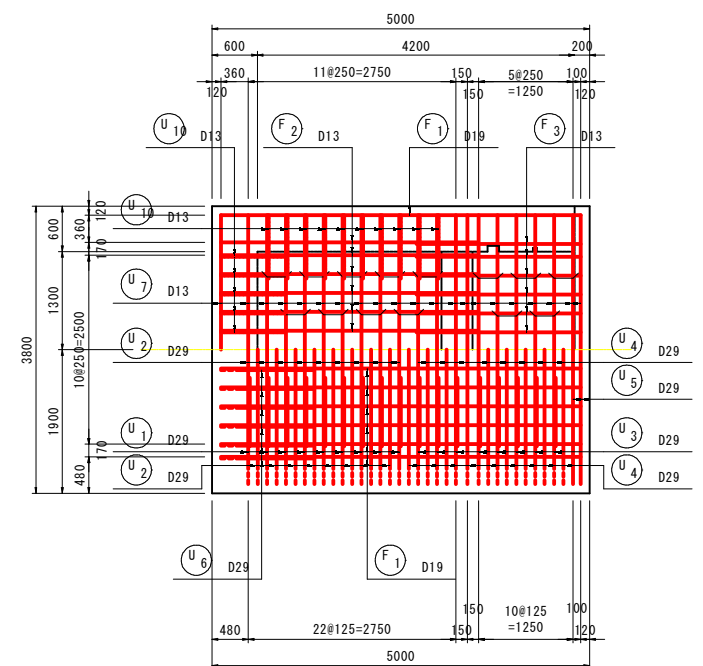
10 - 10



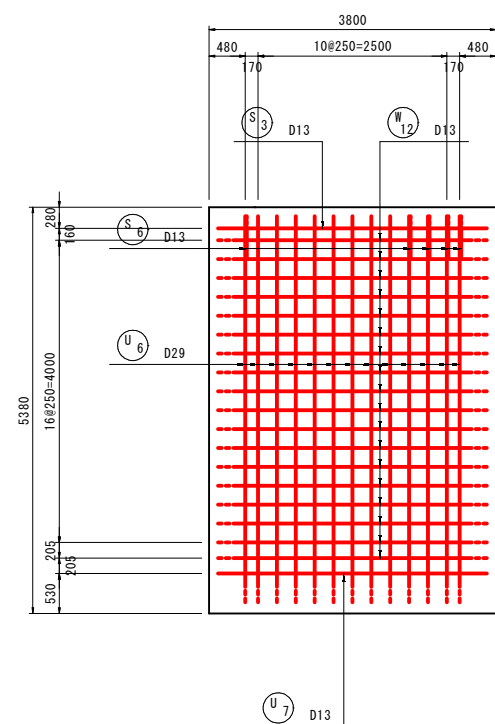
11 - 11



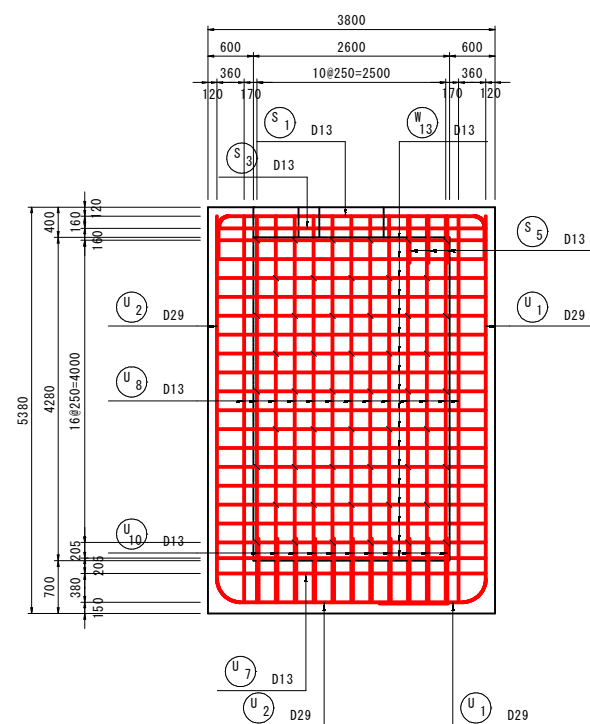
14 - 14
15 - 15



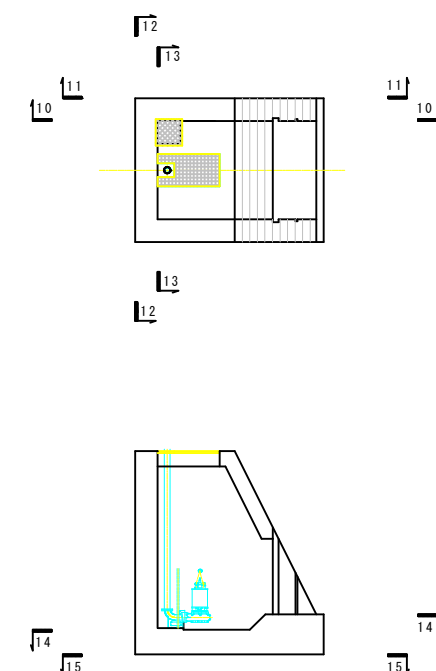
12 - 12



13 - 13



位置図



工事名	大橋向小羽戸排水機場及び区画整理工事		
図面名	吸込水槽配筋図(3/4)		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	5-3
会社名			
事業者名	千葉県農林事務所		

吸込水槽配筋図(4/4) S=1:50

鉄筋加工寸法重量表

記 号	径	形 状	a	b	c	d	e	f	g	継手長	ヶ 所	R	L	本 数	延 長	摘 要
-----	---	-----	---	---	---	---	---	---	---	-----	-----	---	---	-----	-----	-----

吸込水槽

U	1	D29	B	4800	490	1100						310	6390	17	108.630	
	2	"	"	4800	490	2750						"	8040	17	136.680	
	3	"	"	4722 ~ 622	490	1100						"	4260	17	72.420	(平均長)
	4	"	"	4722 ~ 622	490	2750						"	5910	17	100.470	(平均長)
	5	"	A	3560									3560	2	7.120	
	6	"	B	4800	490	910						310	6200	13	80.600	
	7	D13	A	3560									3560	21	74.760	
	8	"	"	5110									5110	29	148.190	
	9	"	"	4782 ~ 1182									2980	24	71.520	(平均長)
	10	"	H	100	1047	100							1250	31	38.750	

F	1	D19	A	4760									4760	15	71.400	
	2	D13	"	3380									3380	13	43.940	
	3	"	C	1380	1117								2500	13	32.500	

N	1	D19	A	4760									4760	4	19.040	
	2	"	"	4481 ~ 2606									3540	32	113.280	(平均長)
	3	D13	"	3590 ~ 3770									3680	4	14.720	(平均長)
	4	"	E	360	3410								3770	16	60.320	
	5	"	A	1210									1210	6	7.260	
	6	"	"	1106 ~ 583									840	10	8.400	(平均長)
	7	"	E	360	681 ~ 181								790	10	7.900	(平均長)
	8	"	A	3410 ~ 2606									3010	16	48.160	(平均長)
	9	"	I	482	3260								3740	2	7.480	
	10	"	"	482	2147								2630	2	5.260	
	11	"	A	1690									1690	2	3.380	
	12	"	D	410	220	3280	220	410				140	4540	18	81.720	
	13	"	A	3560									3560	18	64.080	

S	1	D13	D	410	220	3280	220	410					140	4540	10	45.400	
	2		B	1095	220	410						"	1730	11	19.030		
	3	"	A	3560									3560	14	49.840		
	4	"	"	1235									1240	13	16.120		
	5	"	H	100	735	100							940	27	25.380		
	6	"	B	2306	220	410						140	2940	5	14.700		
	7	"	A	1246									1250	3	3.750		
	8	"	"	2526									2530	10	25.300		
	9	"	"	1326									1330	4	5.320		
	10	"	G	410	2326								2740	8	21.920		
	11	"	"	206	2326								2530	5	12.650		
	12	"	F	103	2326								2430	15	36.450		
	13	"	A	286									290	5	1.450		

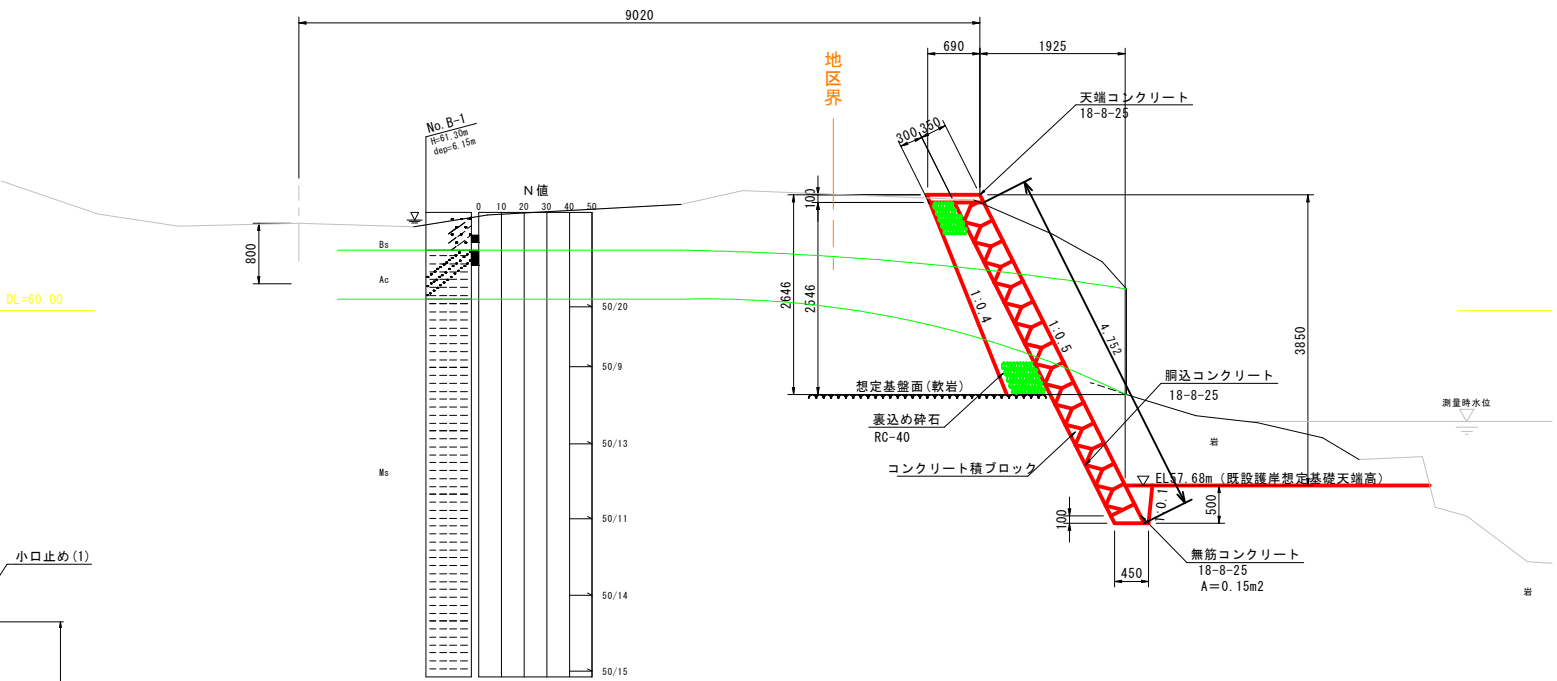
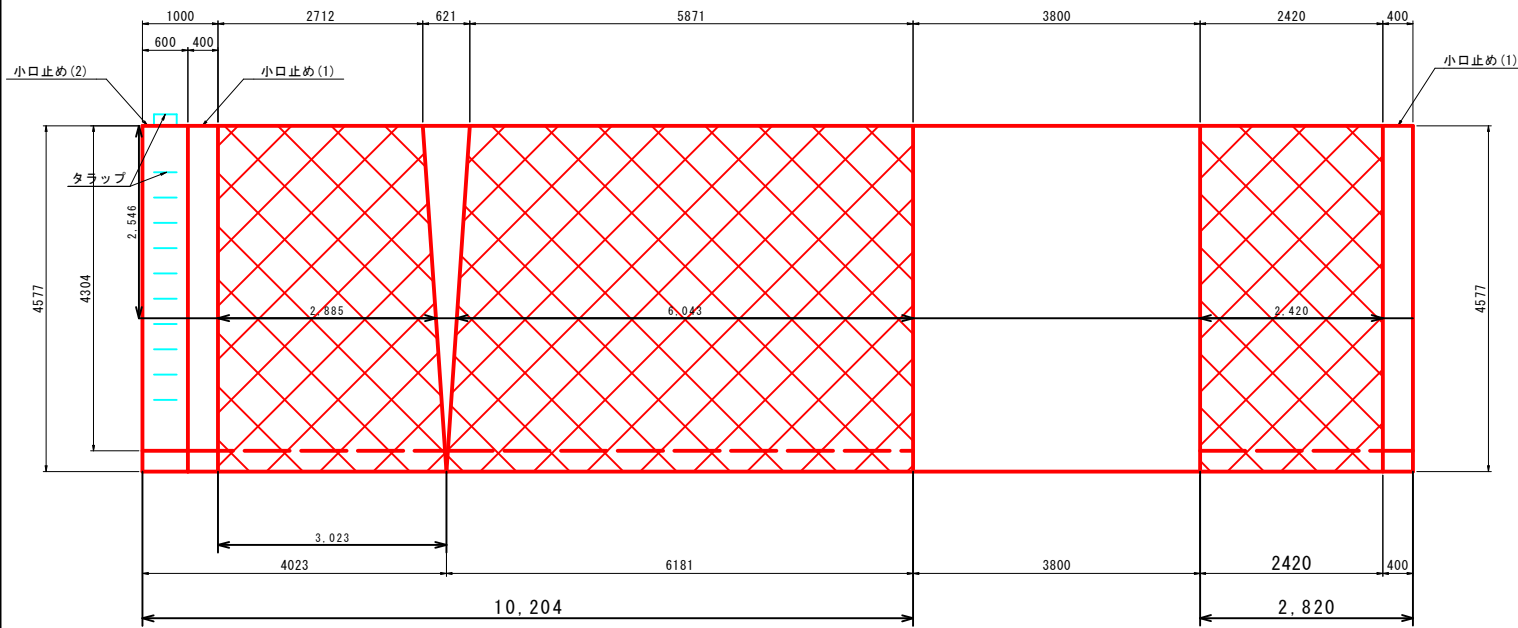
[illegible]

工事名	大楠向小羽戸揚水機場及びび区画整理工事		
図面名	吸込水槽配筋図(4/4)		
作成年月日			
縮尺	1 : 50	図面番号	5-4
会社名			
事業者名	千葉県夷隅農業事務所		

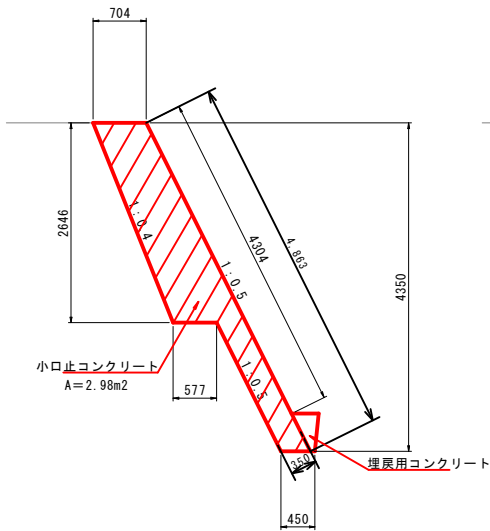
護岸工構造図

断面図 S=1: 50

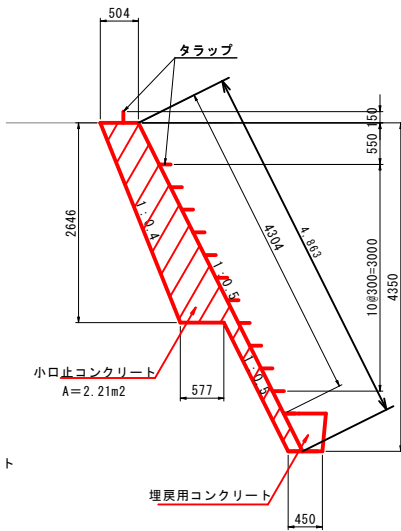
展開図 S=1: 50



小口止め工(1) S=1: 50
構造図



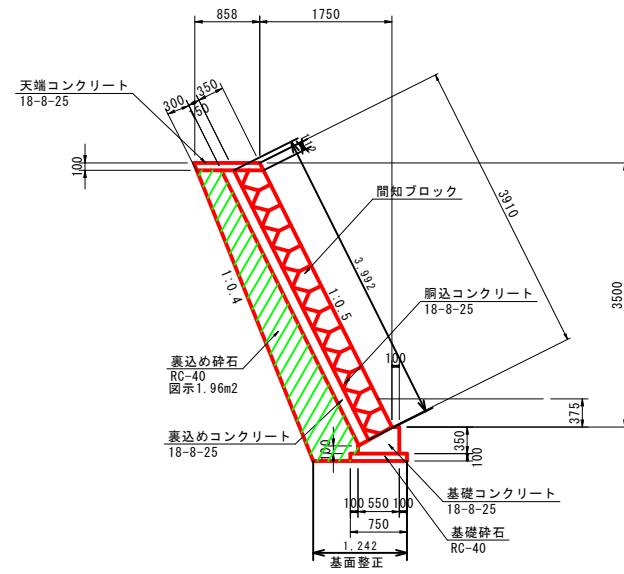
小口止め工(2) S=1: 50
構造図



工事名	大橋向小羽戸揚水機場及び区画整理工事		
図面名	護岸工構造図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	6
会社名			
事業者名	千葉県農林農事事務所		

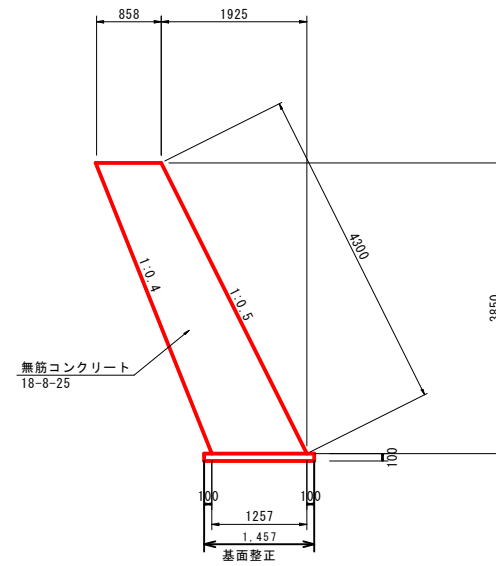
ブロック積工構造図 S=1: 50

ブロック積断面図 S=1: 50

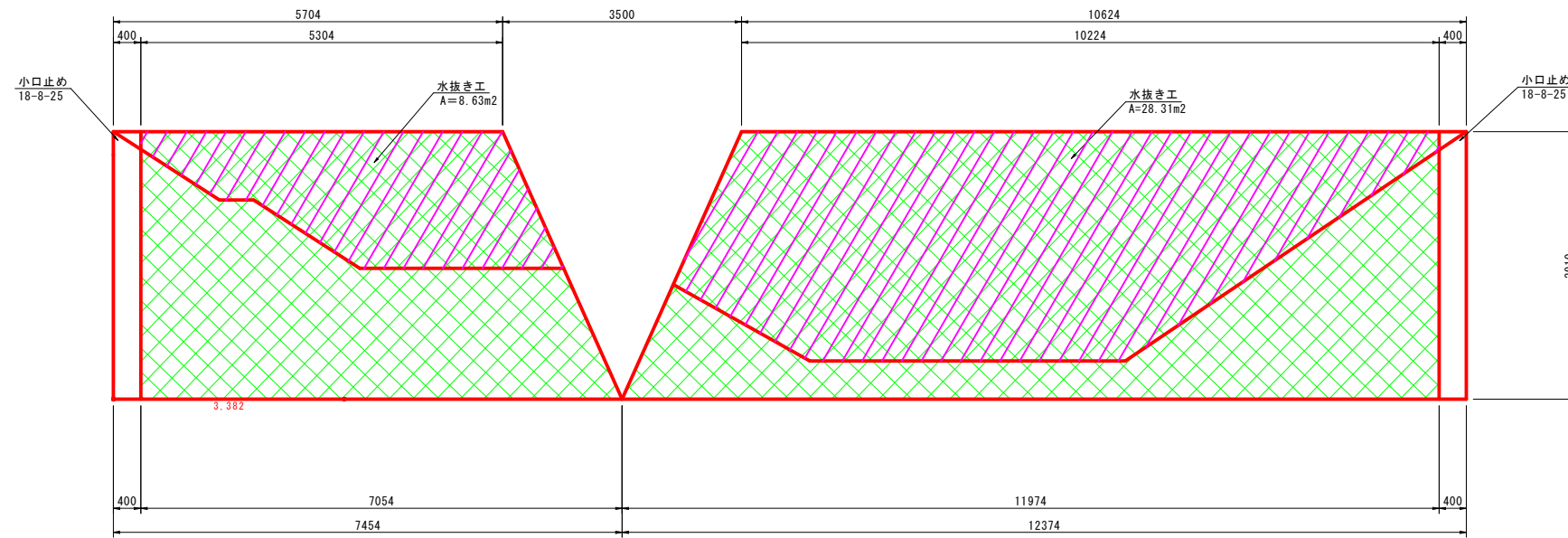


※2m2に1箇所水抜きパイプφ50を設けるものとする。

小口止め断面図 $S=1:50$
H=4000

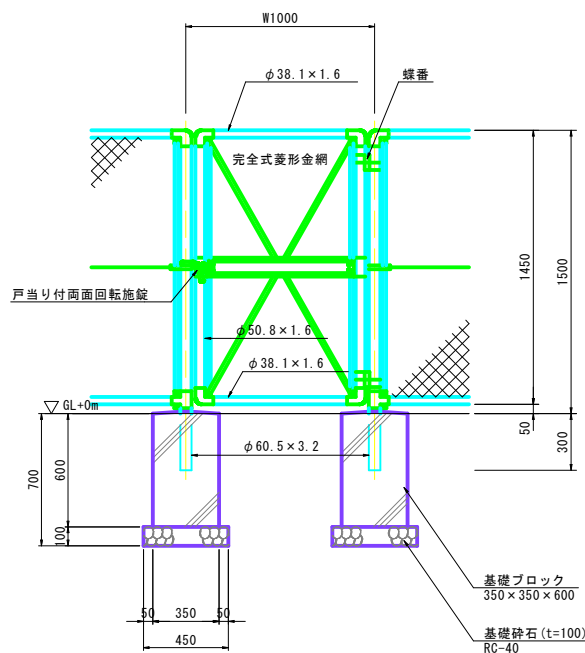


展開図 S=1: 50

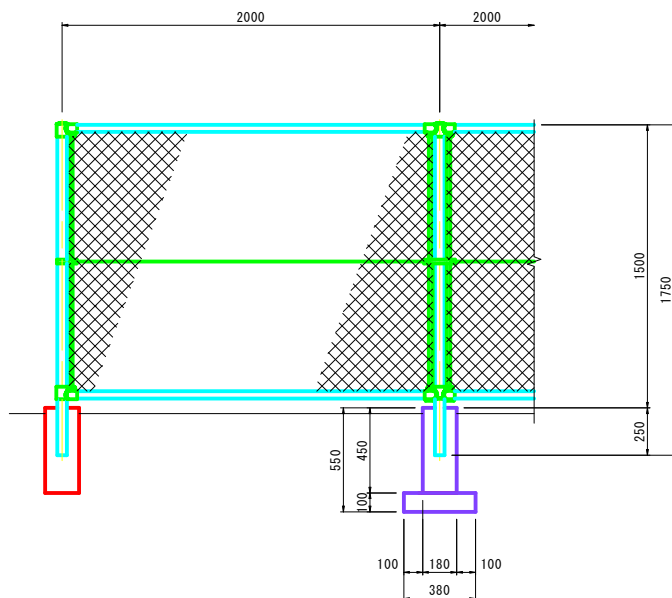


工事名	大橋向小羽羽排水機場及び区画整理工事		
図面名	ブロック積工構造図		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	7
会社名			
事業者名	千葉県夷隅農業事務所		

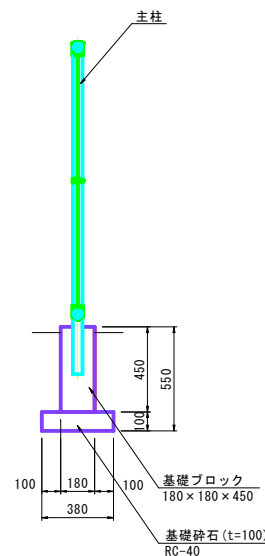
門扉正面図



フェンス正面図



フェンス側面図



工事名	大橋向小羽戸揚水機場及び区画整理工事		
図面名	安全施設工構造図		
作成年月日			
縮尺	1:20	図面番号	8
会社名			
事業者名	千葉県農林事務所		



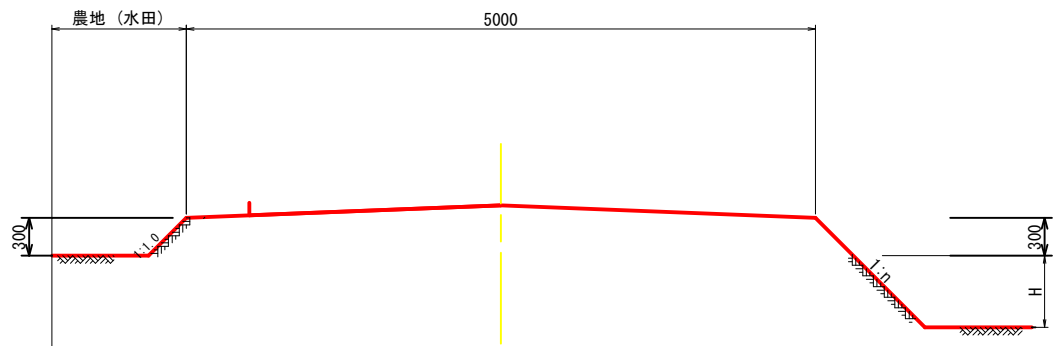
凡 例	
	揚水機場用地
	耕作道路
	地区界
18-2 136	工区番号 面積 (m ²)
64.2 (67.4)	計画高 (m) (二次計画高 (m))

工事名	大桶向小羽戸揚水機場及び区画整理工事		
図面名	計画平面図 (整地工・道路工)		
作成年月日			
縮尺	1 : 400	図面番号	9
会社名			
事業者名	千葉県農林事務所		

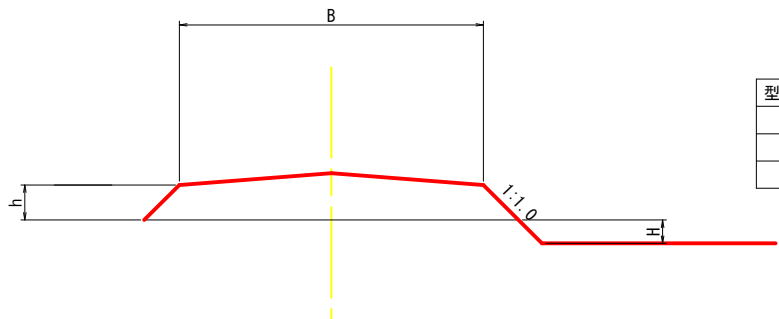
道路工標準断面図

道路標準断面図

S=1:30

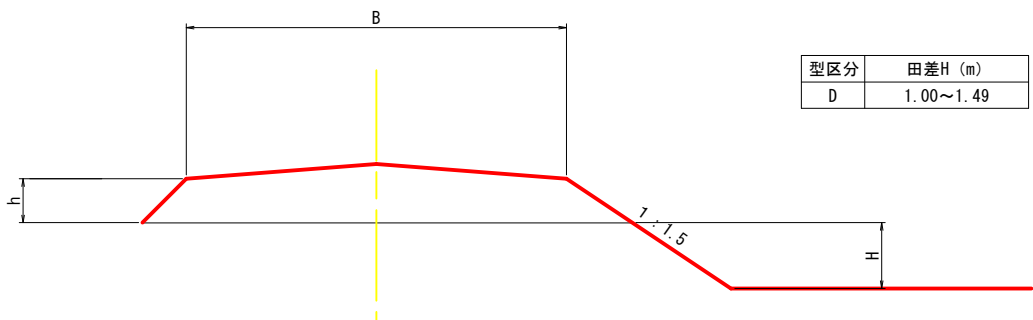


A, B, C型



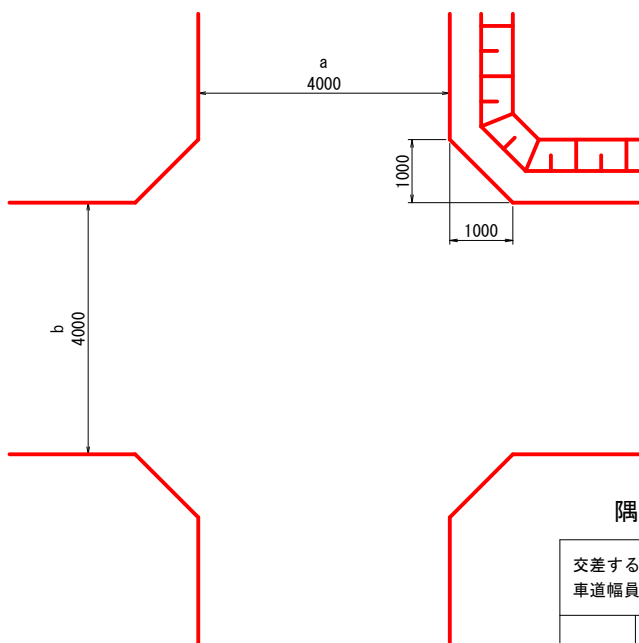
型区分	田差H (m)
A	0.00~0.29
B	0.30~0.59
C	0.60~0.99

D型



型区分	田差H (m)
D	1.00~1.49

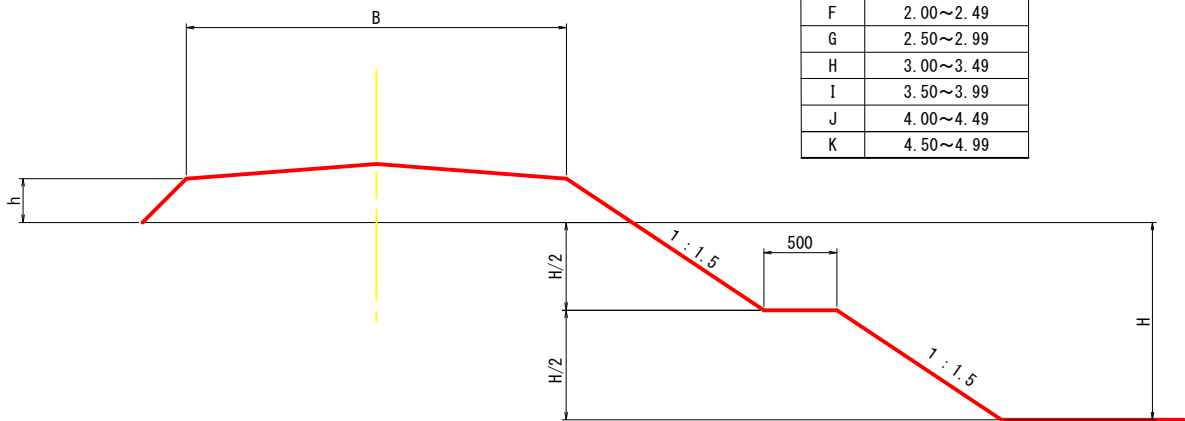
隅切り平面図



隅切りの一片の長さ (m)

交差する農道の 車道幅員 (m)		a			
		3	4	5	
b	3	2.0	1.5	1.0	
	4	1.5	1.0	0.5	
	5	1.0	0.5	-	

E, F, G, H, I, J型

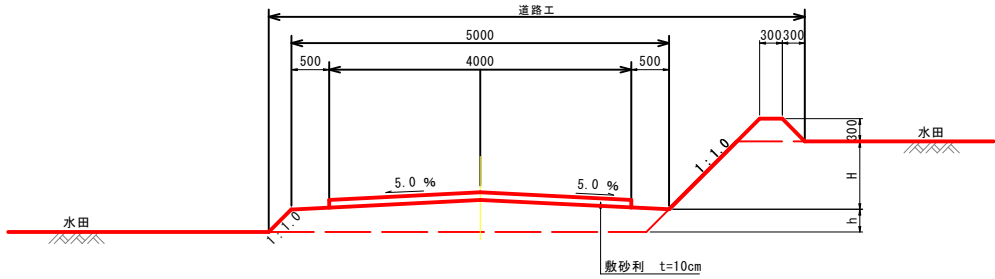


型区分	田差H (m)
E	1.50~1.99
F	2.00~2.49
G	2.50~2.99
H	3.00~3.49
I	3.50~3.99
J	4.00~4.49
K	4.50~4.99

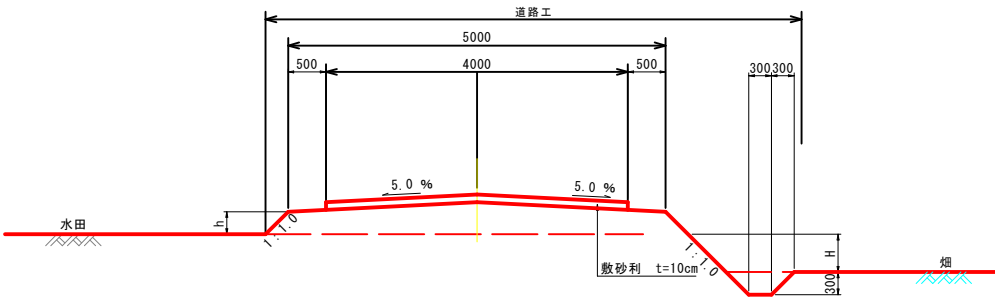
工 事 名	大楠向小羽戸揚水機場及び区画整理事		
図 面 名	道路工標準断面図 (1/2)		
作成年月日			
縮 尺	1:30	図面番号	10-1
会 社 名			
事務所名	千葉県夷隅農業事務所		

道路工標準断面図 (2/2) S=1: 50
《 B=5.0m タイプ別》

1 型 両側田



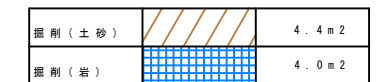
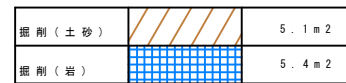
3 型 片側田・片側畑



工事名	大桶向小羽戸揚水機場及び区画整理工事		
図面名	道路工標準断面図 (2/2)		
作成年月日			
縮尺	1: 50	図面番号	10-2
会社名			
事業者名	千葉県農林事務所		

S=1 : 100

土工 床掘

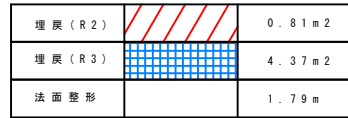


工事名	大橋 向小羽羽掘水機場及び区画整理工事		
図面名	掘水機場土工横断面		
作成年月日			
縮尺	1 : 100	図面番号	参考1-1
会社名			
事業者名	千葉泉興隅農事務所		

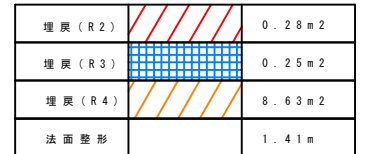
S=1 : 100

土工 埋戻(1/2)

GH=61.25

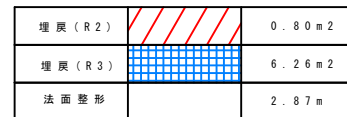
GH=61.25GH=61.15

FH=_____



GH=61.25

FH=

GH=61.25

FH=

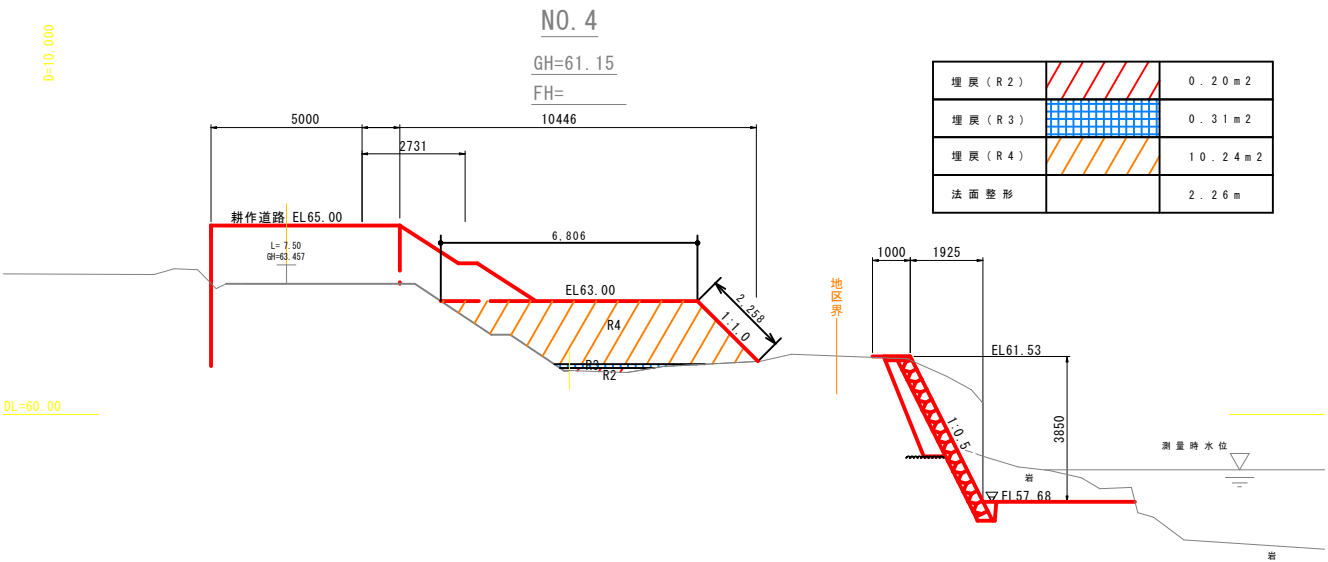
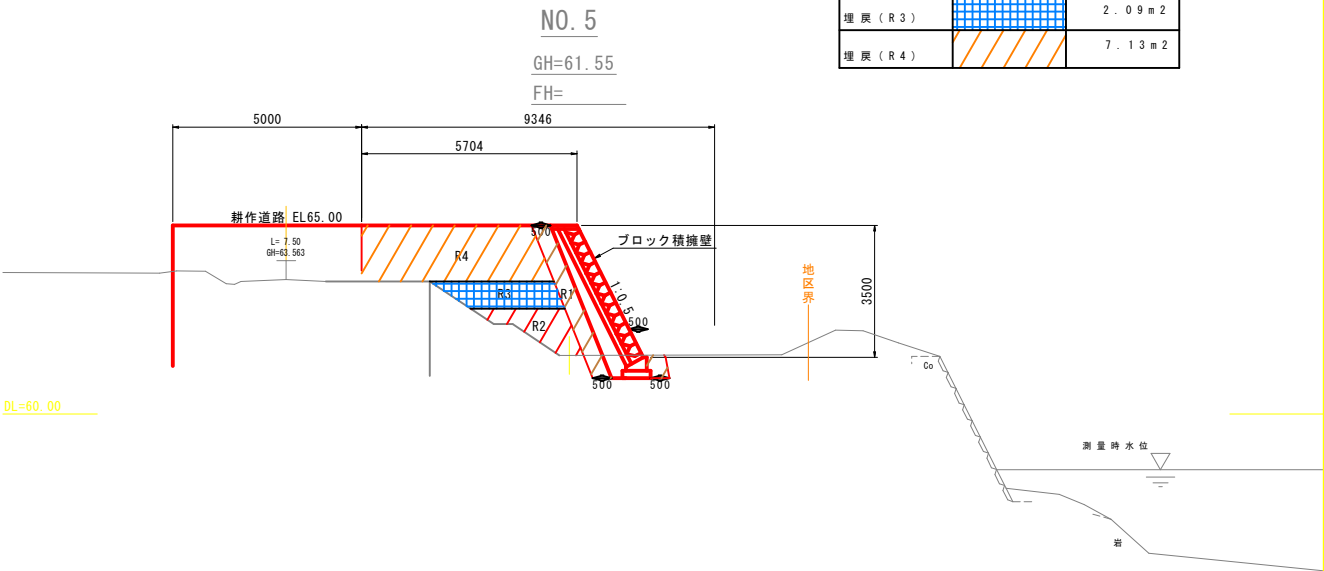
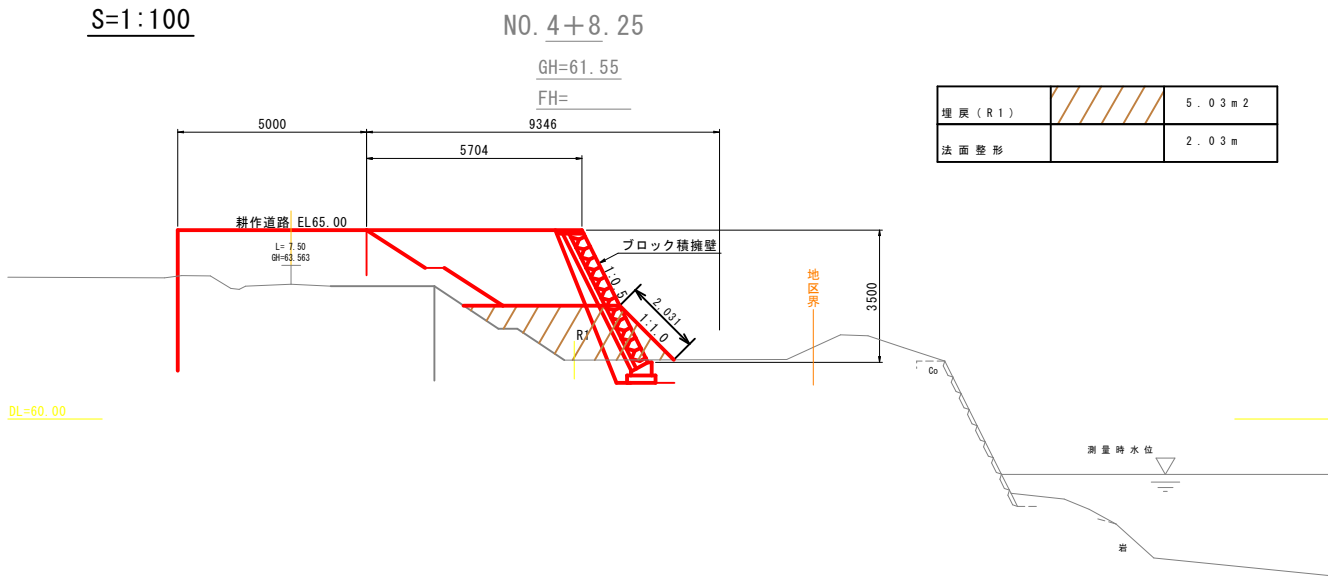


埋戻 (R1)		人力
埋戻 (R2)		機械 B = 2.5m 未満
埋戻 (R3)		機械 B = 2.5m 以上 4m 未満
埋戻 (R4)		機械 B = 4m 以上
法面整形		盛土法面整形

工事名	大橋 向小羽羽排水機場及び断面整理工事		
図面名	揚水機場土工横断面		
作成年月日			
縮尺	1 : 100	図面番号	参考1-2
会社名			
事業者名	千葉県奥浜農産事務所		

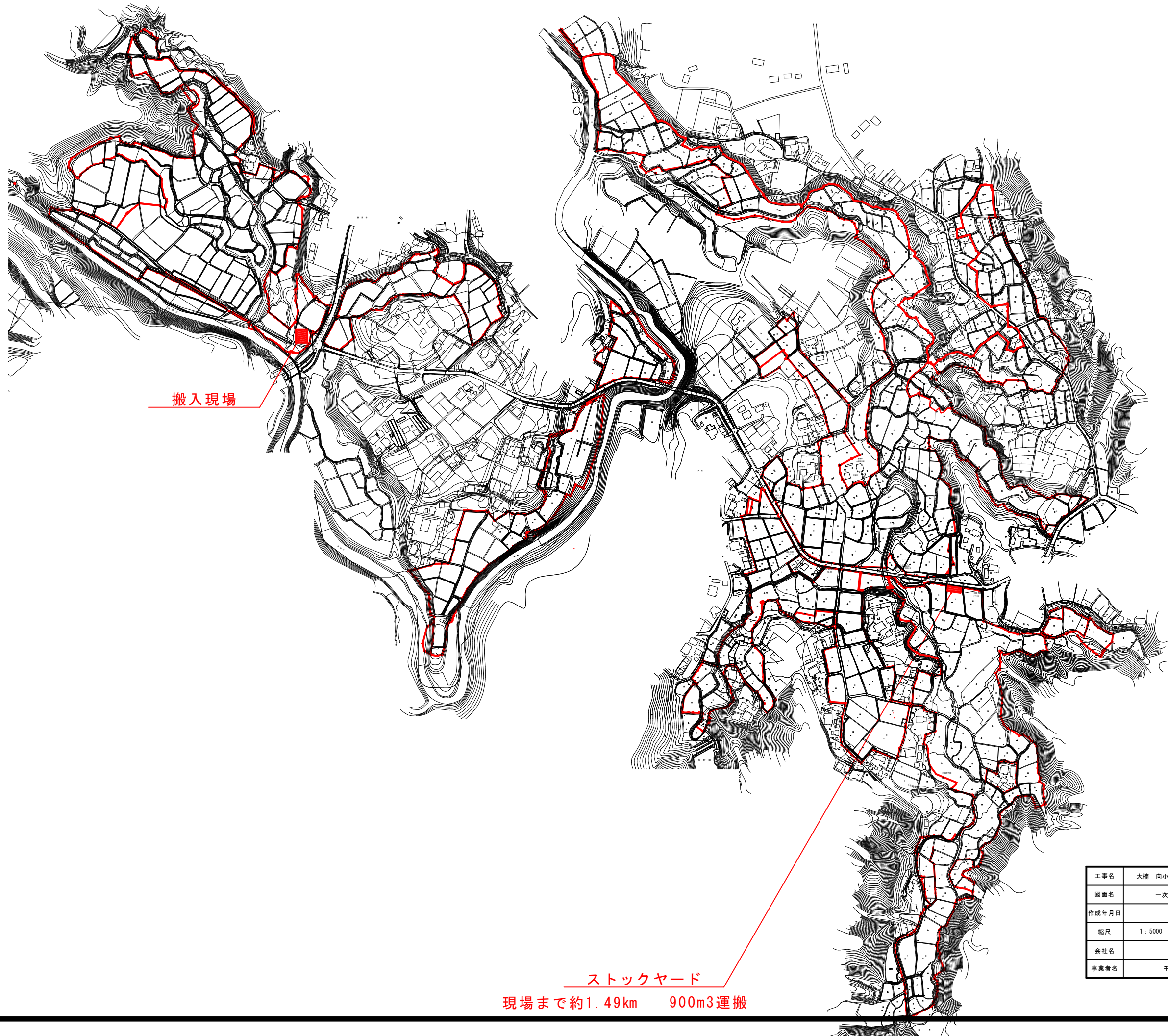
揚水機場土工横断図 S=1:100

土工 埋戻 (2/2)



埋戻 (R1)		人力
埋戻 (R2)		機械 B=2.5m未満
埋戻 (R3)		機械 B=2.5m以上 4m未満
埋戻 (R4)		機械 B=4m以上
法面整形		盛土法面整形

工事名	大桶 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事		
図面名	揚水機場土工横断図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	参考1-3
会社名			
事業者名	千葉県美岡農業事務所		



搬入現場

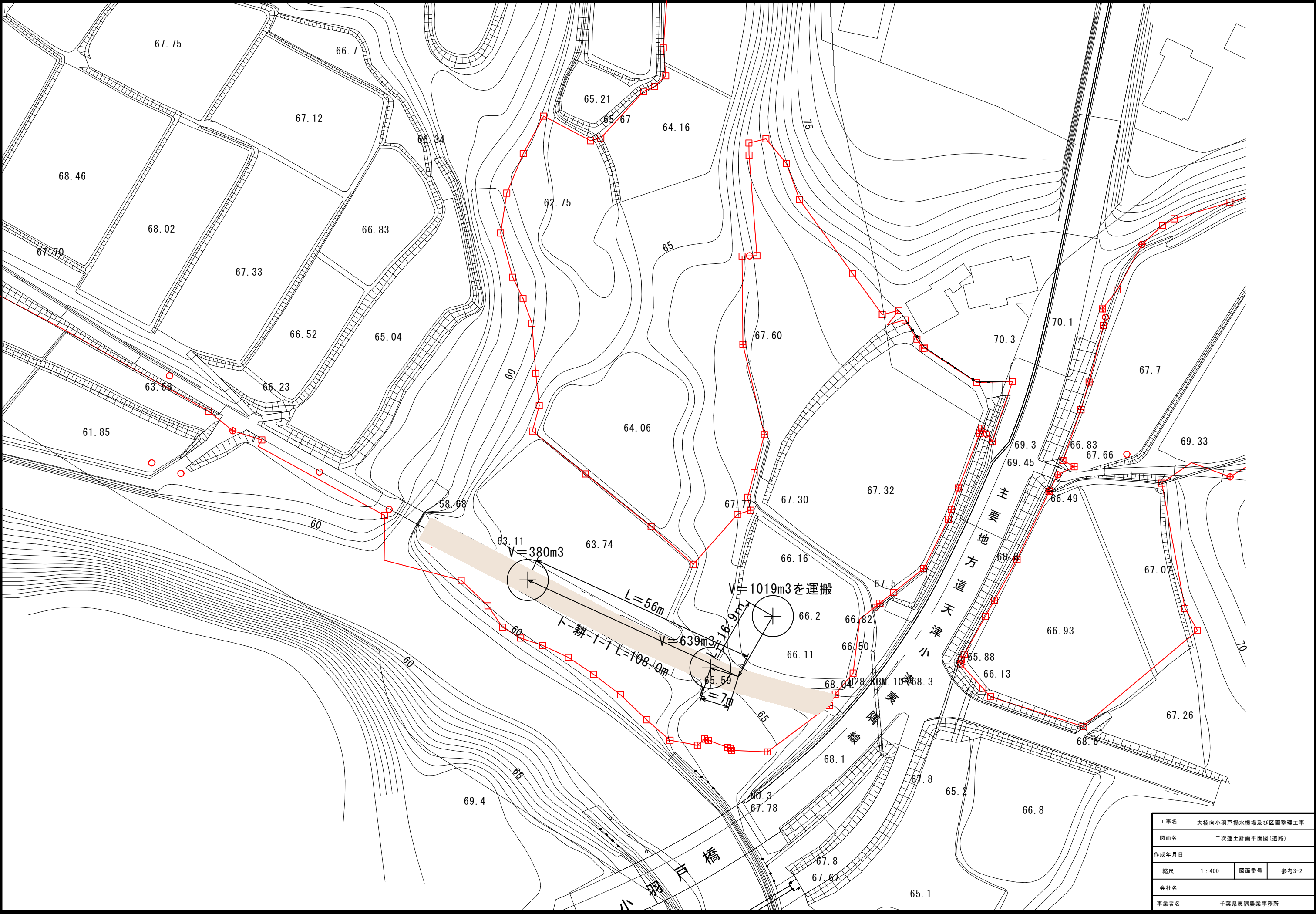
ストックヤード

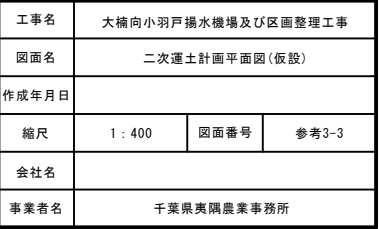
現場まで約1.49km 900m3運搬

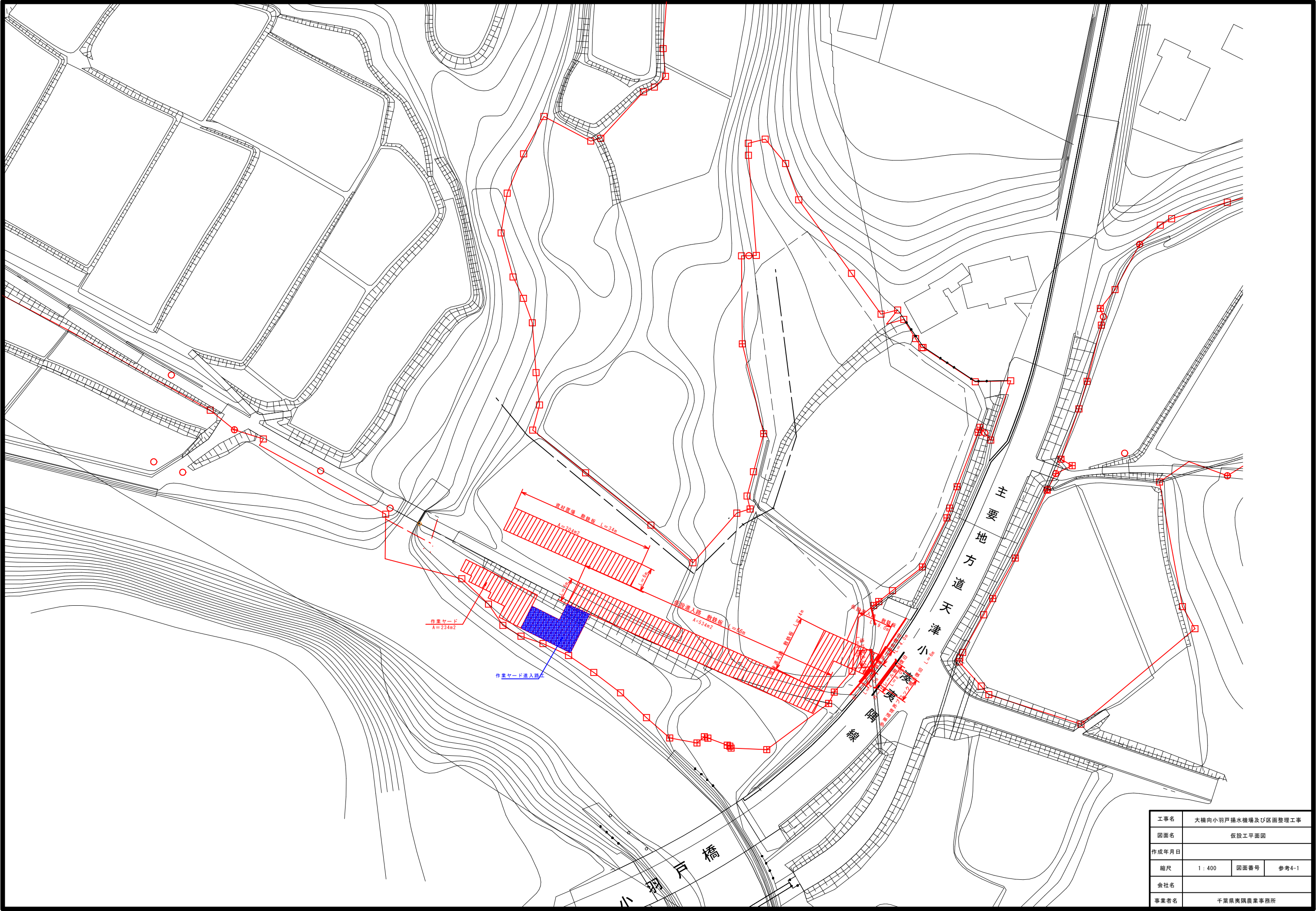
工事名	大楠 向小羽戸揚水機場及び区画整理工事		
図面名	一次運土計画平面図(整地工)		
作成年月日			
縮尺	1:5000	図面番号	参考2
会社名			
事業者名	千葉県農林農産事務所		



工事名	大橋向小羽戸橋水機場及び区画整理工事		
図面名	二次運土計画平面図(整地)		
作成年月日			
縮尺	1:400	図面番号	参考3-1
会社名			
事業者名	千葉県夷隅農業事務所		







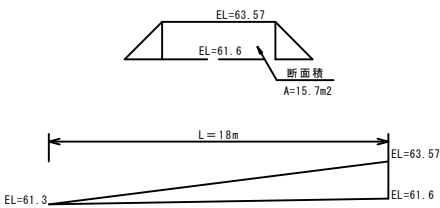
工事名	大橋向小羽戸橋水機場及び区画整理工事		
図面名	仮設工平面図		
作成年月日			
縮尺	1 : 400	図面番号	参考4-1
会社名			
事業者名	千葉県農林事務所		

仮設工平面図
(揚水機場工)

平面図 S=1:200



仮設進入路工横断・縦断面 S=1:200



NO. 4

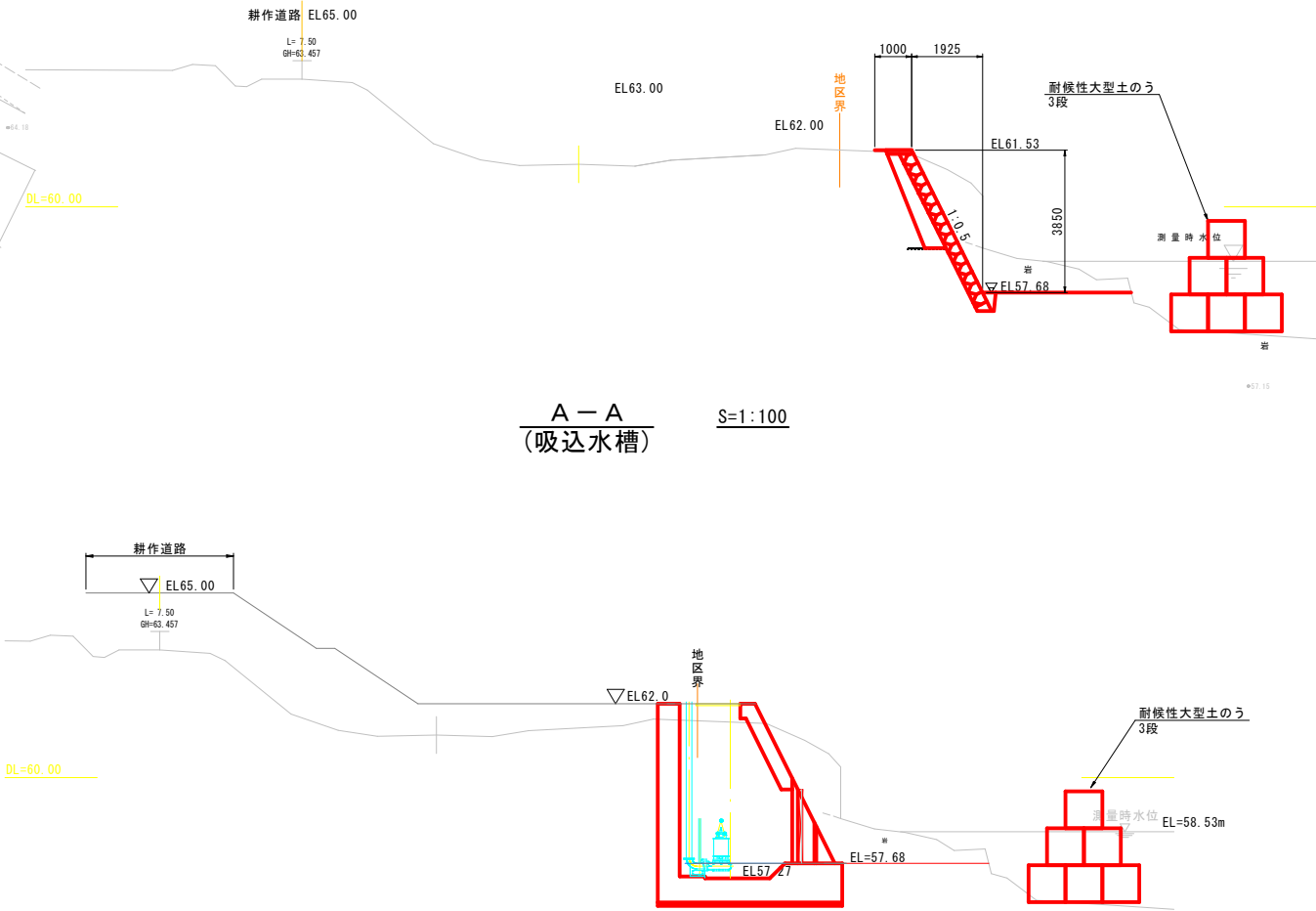
GH=61.15

FH=

(護岸)

A-A
(吸込水槽)

S=1:100



※河川内に対候性大型土のうを先行設置し、ドライにしたのちブレーカーで掘削する

工事名	大橋向小羽戸揚水機場及び区画整理工事		
図面名	仮設工平面図		
作成年月日			
縮尺	1:200	図面番号	参考4-2
会社名			
事業者名	千葉県夷隅農業事務所		